

観光統計調査業務

報告書

令和4年3月

沖縄市

目 次

第1章 業務概要	1
1-1. 業務の目的	1
1-2. 調査の概要	2
1-3. 各調査の実施方法	4
第2章 観光実態調査	14
2-1. 観光統計調査の整理	14
2-2. 令和2年度を対象としたデータ分析（携帯 GPS 調査）	26
2-3. 令和3年度を対象としたデータ分析（携帯 GPS 調査）	60
2-4. 大型イベント・スポーツキャンプ等を対象とした データ分析（携帯 GPS 調査）	89
第3章 観光客満足度・消費動向調査	124
3-1. 旅行サイトの口コミ分析	124
3-2. 来訪者へのアンケート調査	143
3-3. イベント時等のアンケート調査	163
第4章 経済波及効果の推計	185
第5章 観光バリアフリー実態調査	227
第6章 マーケティング分析	249
6-1. 今年度（令和3年度）調査結果の概要	250
6-2. 各施策の効果の検証	269
6-3. 市内観光関係者との勉強会の開催	272
6-4. 観光バリアフリーに関する勉強会の開催	279
第7章 今後の方向性	286

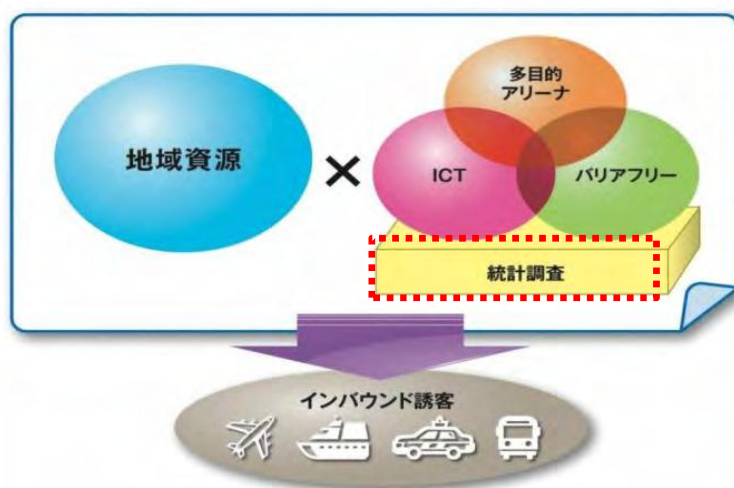
第1章 業務概要

1-1. 業務の目的

沖縄市では、平成29年度に策定された「沖縄市観光振興基本計画」の「第5章 施策の方向性（下図）」を踏まえた施策の具体化のための統計調査（マーケティングデータ）の整備が求められている。多様化する観光ニーズに対応し、より効果的な観光振興による経済の活性化を行うには、現状の把握をした上での施策展開が必要である。

本業務は、本市の観光施策を考える上での課題把握や事業効果分析の基礎資料とすることを目的として、観光振興施策を展開するための調査分析等を行う。

▼沖縄市観光振興のイメージ（出典：沖縄市観光振興基本計画より）



1-2. 調査の概要

(1) 各調査の概要

本業務にて実施した各調査の概要を以下に示す。

【各調査の概要】

調査		実施概要
(1) 観光実態調査	①観光統計調査の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市の観光統計について整理・分析 ・宿泊実績の整理・分析
	②令和2年度を対象としたデータ分析（携帯GPS調査）	<ul style="list-style-type: none"> ・国内県外客（4,273 サンプル）について全キャリア横断GPSビッグデータを活用 ・1年分（令和2年4月1日～令和3年3月31日）のデータを取得し、四半期ごとの4期間に区分して分析 ・市内全域と主要10地域の分析を実施
	③令和3年度を対象としたデータ分析（携帯GPS調査）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の観光動向について即時的に分析可能なKDDIロケーションアナライザーを用いて観光動向を分析 ・1年分のデータを取得し、四半期ごとの4期間に区分して分析 ・主要11地域の分析を実施
	④大型イベント・スポーツキャンプ等を対象としたデータ分析（携帯GPS調査）	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツキャンプ、合宿等の観戦者や競技者が多くなる12月～2月を対象とし、KDDIロケーションアナライザーを活用し動態分析を実施 ・その他、市内プロスポーツのホーム戦及びイベント開催を対象として周遊分析を実施
(2) 観光客満足度・消費動向調査	①旅行サイト口コミ分析	<ul style="list-style-type: none"> ・大手旅行サイトの過去5年分の口コミ（2,307件）の内容より市内観光地の評価や観光ニーズ等を分析
	②来訪者へのアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBアンケートシステムにより観光客の満足度、ニーズ、消費行動等を取得・分析（国内客178件、県外客197件）
	③イベント時等のアンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・市内スポーツイベント等を対象として、来場者のイベント前後の行動、満足度、消費行動等を分析
(3)経済波及効果の推計		<ul style="list-style-type: none"> ・市内を訪れる観光客によって、市内にどの程度の経済波及効果をもたらされているか推計するために調査・分析を実施
(4)観光バリアフリー実態調査		<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の観光バリアフリーの取組状況等を把握するために事業者を対象としたアンケート調査を実施

マーケティング分析	①各施策の効果の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・各調査を踏まえ、沖縄市を訪れる観光客の動態や特徴等をまとめるとともに、沖縄市における観光施策の検証を行い、戦略的かつ効果的な観光地づくりの提案を実施
	②市内関係者との勉強会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度取得のデータ・分析結果等をもとに、実態および課題認識の共有と、データに基づく関係者の取組につなげるため、市内関係者との勉強会を3回開催
	③観光バリアフリーに関する勉強会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度実施した観光バリアフリー実態調査の結果等をもとに、市内事業者を対象として観光バリアフリーをテーマとした勉強会を開催

(2) 各調査のデータ対象期間

本年度および過去3年分（平成30年度～令和2年度）の各調査のデータ対象期間を以下に示す。

【各調査のデータ取得対象期間一覧表（年度ごとに色分け）】

		凡例	平成30年度業務 xxxxxxxxxx	令和元年度業務 xxxxxxxxxx	令和2年度業務 xxxxxxxxxx	令和3年度（本年度）業務 xxxxxxxxxx
調査項目		平成29年度	平成30年度	平成31年度/ 令和元年度	令和2年度	令和3年度
観光実態調査	①観光統計調査の整理	H29.4～H30.3	H30.4～H31.3	H31.4～R2.12	R2.4～R3.12	
	②令和2年度を対象としたデータ分析	H29.8～H30.2	H30.4～H31.3	H31.4～R2.3	R2.4～R3.3	
	③令和3年度を対象としたデータ分析			H31.4～R1.8 比較分析	R2.4～R2.8	R3.4～R4.2
	④大型イベント・スポーツキャンプ等を対象としたデータ分析			KDDIロケーションアナライザーを使用 H30.12～H31.2 ASEアナリティクスを使用 R1.12～R2.2	3年分を比較分析 R2.12～R3.2	プロスポーツホーム戦・イベント等 R3.4～R4.2の各開催日 スポーツキャンプ・合宿者対象 R3.12～R4.2
観光客満足度・消費動向調査	①旅行サイト口コミ分析	H25～H30.5	H30.6～R1.10	R1.11～R2.12		H29.4～R3.9
	②来訪者へのアンケート調査	H29.8～9、H29.11～12		R1.8～R2.1	R2.11～R3.1	R3.11～R4.1
	③イベント時等のアンケート調査					R3.11～12までの6イベント
経済波及効果の推計			令和元年（暦）の観光入込客数を推計 H30.1～R1.12	平成30年度の市内平均消費額を確認 H30.4～H31.3	域内調達率の推計（平成30年10月～令和元年9月分を確認） H30.10～R1.9	
観光バリアフリー実態調査					R3.10時点のバリアフリーの実施状況を確認	R3.11～R3.12

1-3. 各調査の実施方法

(1) 観光実態調査

1) 観光統計調査の整理

国や県の観光統計を分析するとともに、沖縄市の動向と比較することで、沖縄市観光の置かれている状況の分析を行った。宿泊客数、観光客の属性の視点から分析を行い、月別・季節毎の沖縄市観光及びインバウンドの状況を整理した。

また、市内宿泊施設と連携し、沖縄市における宿泊実績等を収集・整理した。

【観光統計調査の実施項目】

観光統計の整理	<ul style="list-style-type: none"> ○全国観光入込客統計（観光庁） ○旅行・観光消費動向調査（観光庁） ○観光要覧（沖縄県） ○外国人観光客実態調査（沖縄県） ○宿泊実績調査（沖縄市） ○宿泊旅行統計調査（観光庁） ○国籍／月別 訪日外客数（JNTO） ○観光統計実態調査（沖縄県） ○主要観光施設入場者数（沖縄市） <p style="text-align: right;">※（ ）は調査実施主体</p>
宿泊実績等の収集・整理	<ul style="list-style-type: none"> ○延べ宿泊客数（月別） ○実人数（月別） ○定員稼働率 ○客室稼働率 ○宿泊客の出身地（国内客は都道府県、海外客は国籍）

2) 令和2年度を対象としたデータ分析（携帯 GPS 調査）

沖縄市に来訪する国内県外観光客の発地場所、立ち寄り場所、宿泊地、滞在時間等を携帯位置情報データより把握し、マーケティングに資する分析を行った。

具体的には、携帯端末の位置情報データから沖縄市内に30分以上滞在した来訪者のデータを抽出し、来訪者の属性や行動の特性を把握した。また、調査期間及び市内外の観光エリア（10箇所）を設定することで、来訪時期や来訪場所による傾向の分析を行った。

【データ分析（携帯 GPS 調査）の実施項目】

調査対象	○沖縄市内に30分以上滞在した国内県外居住者 ⇒ 市内居住者・通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞行者、長期滞行者及び高頻度滞行者は除外
調査方法 (利用データ)	○スマートフォンアプリユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できない様に加工した全キャリア横断 GPS ビッグデータや属性情報等を利用して分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	○令和2年4月1日～令和3年3月31日 ※以下、4つの期間を設定し、対象期間内の詳細な分析を実施 期間1：令和2年 4月1日～令和2年 6月30日 期間2：令和2年 7月1日～令和2年 9月30日 期間3：令和2年10月1日～令和2年12月31日 期間4：令和3年 1月1日～令和3年 3月31日
対象データ数	4,273人（日帰り：130人、宿泊：4,143人）
分析項目	①属性分析：性別・年齢層ごとの来訪者数 ②発地分析：発地（都道府県、市区町村）ごとの来訪者数 ③立ち寄り分析：市区町村ごと、250mメッシュごとの立ち寄り比率 ④旅程分析：旅程別の来訪者数、宿泊場所区分別の宿泊人泊数 ⑤宿泊地分析：市区町村ごとの宿泊人泊数 ⑥昼間滞在時間分析：昼間の滞在時間
対象エリア	○市内8箇所、市外2箇所の計10箇所 ①県総合運動公園 ②コザ運動公園 ③沖縄こどもの国 ④東南植物楽園 ⑤プラザハウス ⑥一番街 ⑦中の町 ⑧グランメールリゾート ⑨北谷アメリカンビレッジ（市外） ⑩イオンモール沖縄ライカム（市外）

3) 令和3年度を対象としたデータ分析（携帯 GPS 調査）

新型コロナウイルス感染症の影響が続いた令和3年度の観光動向について、即時的に分析可能なKDDIのロケーションアナライザーを用いて、動態把握・分析を実施した。

昨年度の動向等との比較分析を行い来訪動向（来訪者数等）や来訪特性の変化を目的に分析した。

【KDDI ロケーションアナライザー（令和3年度分）の実施概要】

調査対象	○滞在者数分析、属性分析については、調査対象エリアに一定時間（60分以上等）滞在した来街者 ※各対象エリアから自動車で10分で移動可能な圏域の居住者、圏域への勤務者は除く ○周遊分析は各エリアへ滞在15分以上滞在した市民を除く県内外居住者
調査方法 (利用データ)	○KDDIユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できない様に加工した携帯GPSデータ ※KDDIのGPS調査ツールであるロケーションアナライザーを活用
調査期間	○令和3年4月1日～令和3年3月31日 ※以下、4つの期間を設定し、対象期間内の詳細な分析を実施 期間1：令和3年4月1日～令和3年6月30日 期間2：令和3年7月1日～令和3年9月30日 期間3：令和3年10月1日～令和3年12月31日 期間4：令和4年1月1日～令和4年2月20日
調査項目	①滞在者数推移分析 【市民含む県内外別／月別】 ②属性分析（年代×性別） 【市民含む県内外別／四半期別】 ③属性分析（時間帯） 【市民含む県内外別／四半期別】 ④居住地分析 【市民を除外した県内外別／四半期】 ⑤周遊分析 【市民を除外した県内外別／四半期】
対象エリア	○市内9箇所、市外2箇所の計11箇所 ○本年度より沖縄アリーナを新規追加 ①県総合運動公園 ②コザ運動公園 ③沖縄アリーナ ④沖縄こどもの国 ⑤東南植物楽園 ⑥プラザハウス ⑦一番街 ⑧中の町 ⑨グランメールリゾート ⑩北谷アメリカンビレッジ（市外） ⑪イオンモール沖縄ライカム（市外）

4) 大型イベント・スポーツキャンプ等を対象としたデータ分析（携帯 GPS 調査）

令和 3 年度の大型イベントやスポーツキャンプ等の観光動向について、KDDI のロケーションアナライザーを用いて、動態把握・分析を実施した。

本調査では国内客を対象とし、市内イベントをプロ野球キャンプ（A グループ）、スポーツ合宿（B グループ）、プロサッカー観戦（C グループ）、プロバスケットボール観戦（D グループ）、その他イベント（E グループ）に分け分析した。各グループでは会場となるエリアの滞在者数・属性の分析を行うとともに周辺エリアへの周遊状況を確認した。

【KDDI ロケーションアナライザー（大型イベント・スポーツキャンプ等）の実施概要】

利用データ	OKDDI の携帯 GPS データ ※KDDI の GPS 調査ツールであるロケーションアナライザーを活用
調査期間	○昨年度より継続している A、B グループは令和 3 年 12 月～令和 4 年 2 月を調査期間とした。 ○C、D、E グループは各試合・イベントの開催日を調査対象日とした。
対象エリア	【A グループ：プロ野球キャンプ見学者（広島東洋カープ）】 ○コザ運動公園（会場）の他、主要ホテル（2～3）、中の町、ゲート通り、パークアベニュー等を対象
	【B グループ：スポーツ合宿参加者】 ○コザ運動公園の陸上競技場（会場）、体育館の他、ライカム、アメリカンビレッジ、プラザハウス、ミュージックタウン、自動車道等を対象
	【C グループ：プロサッカー観戦者（FC 琉球）】 ○県総合運動公園（会場）、泡瀬周辺
	【D グループ：プロバスケットボール観戦者（キングス）】 ○沖縄アリーナ（会場）、一番街・中の町周辺
	【E グループ：その他イベント鑑賞者】 ○沖縄アリーナ、一番街・中の町周辺
調査対象	○調査対象エリアに一定時間滞在した来街者 ※A・B グループは 60 分以上、C～E グループは 15 分以上滞在を対象 ※指定エリアの居住者、勤務者は除く
調査項目	【A・B グループ】 ①滞在者数分析 ②滞在者数推移分析 ③属性分析（年代×性別、時間帯別） ④居住地分析 ⑤周遊分析（市内外指定エリアごと） 【C・D・E グループ】 ①試合・イベント開催日における会場と周辺エリアの周遊分析 ②居住地分析

(2) 観光客満足度・消費動向調査

1) 旅行サイトの口コミ分析

大手旅行サイトのWEB上の投稿（口コミ等）より、市内観光地、飲食施設、宿泊施設の評価や投稿者の属性等を分析するとともに、テキストマイニング（AI等を活用した言語の統計処理）を行うことで、観光客のニーズ等の傾向の把握を目的に実施した。

【旅行サイト口コミ分析の実施概要】

調査対象	○大手旅行サイトに投稿されている沖縄市内の観光施設、飲食施設に対する評価・口コミ・属性等 ○日本人の声、外国人の声それぞれについて分析				
対象期間	○平成29年4月から令和3年9月				
調査対象	○一定の口コミ投稿が確認できる市内観光関連施設（宿泊施設、観光施設、飲食施設） ※閉業した施設は対象外				
		施設数	口コミ数	日本語・外国語の内訳	
				日本語	外国語
	宿泊施設	36	812	650	162
	観光施設	22	904	753	151
飲食施設	32	591	440	151	
合計	90	2,307	1,843	464	
分析項目	①口コミデータの概要（施設の区分、言語、評価、投稿された年月） ②観光地ごとの評価（点数） ③テキストマイニング分析（AIによるポジネガや頻出語等の分析） ・ポジティブ・ネガティブ分析、感情分析、ワードクラウド、単語頻出頻度				
分析方法	○施設の評価、口コミ内容等の分析にあたっては、旅行サイトの種類は区分せず合算して行った。 ○昨年度使用したユーザーローカル社のAIテキストマイニングツールにて実施した。				

2) 来訪者へのアンケート調査

観光客の満足度やニーズ、観光動向、消費金額を把握することを目的として、昨年度より継続して、WEB アンケートシステムを用いて、観光客へのアンケート調査を実施した。

調査にあたっては、市内の宿泊施設、観光施設等の協力のもと、アンケートページへのQRコードを掲載した名刺サイズのカードを観光客へ配布した。

【来訪者へのアンケート調査の実施概要】

調査対象	○市内宿泊施設や観光施設に訪れた国内外観光客 (日本語・英語・韓国語・繁体字)
調査箇所	○市内宿泊施設(11施設)、市内観光施設(3施設) ①オキナワグランメールリゾート ②ホテルニューセンチュリー ③クラウンホテル ④デイゴホテル ⑤ホテルシャララ ⑥ホテルコザ ⑦サンライズ観光ホテル ⑧ホテルタイムリッチ ⑨デイリーウィークリーマンズリーマンション(ぷらり) ⑩ヒヤグン・ラナイ・リゾート ⑪トリップショットホテルズ・コザ ⑫沖縄こどもの国 ⑬東南植物楽園 ⑭沖縄市観光物産振興協会
調査期間	○令和3年10月8日～令和4年2月23日
調査方法	○宿泊施設、観光施設等においてアンケートページへのQRコードを掲載した名刺サイズのカードを観光客へ配布。
配布枚数	○第1回配布：12,000部(10月7日に各施設へ配布) ○第2回配布：12,000部(12月28日に各施設へ配布)
回答者数 (サンプル数)	○県内客：178件(沖縄市民除く) ○県外客：197件 ○英語：1件、中国語2件
質問項目	①基本属性：居住地(国籍)／性別・年齢・職業／来訪経験 ②来訪目的・観光行動：行程／目的／情報源／訪問箇所／移動手段 ③消費行動：市内での消費額(ツアー・宿泊・交通・食事等) ④沖縄市の評価：満足度／再訪意向／推薦意向

3) イベント時等のアンケート調査

沖縄アリーナやタピック県総ひやごんスタジアムでの試合やイベント開催時等に、来訪客に対し満足度やニーズ、観光動向（観戦前後に市内を周遊したかどうか等）、消費金額等を把握することを目的としてアンケート調査を実施した。

琉球ゴールデンキングス、FC 琉球等の市内プロスポーツ団体や各種イベント興行主及び施設運営者の協力のもと、アンケートページへの QR コードを掲載した A4 サイズのチラシの配布等により調査を行った。

【スポーツイベント時等のアンケート調査の実施概要】

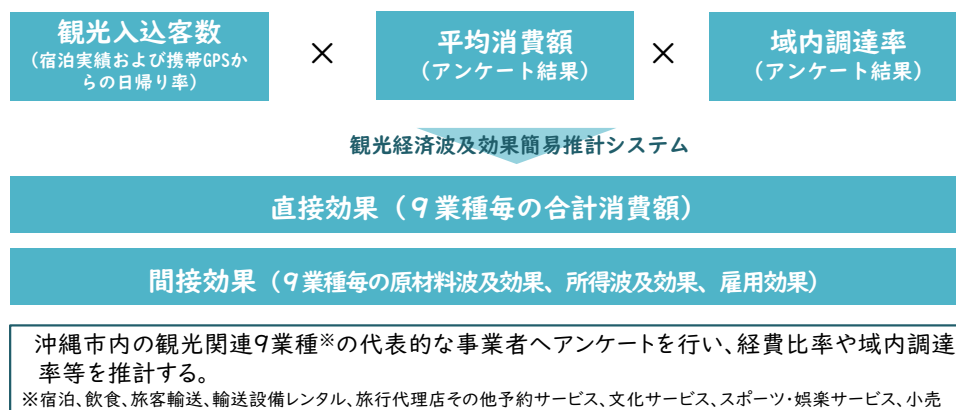
調査対象	○スポーツイベント時に沖縄アリーナ等の施設に来場した国内観光客（市民は対象外）
調査箇所	○沖縄アリーナ、タピック県総ひやごんスタジアム
調査方法	○プロスポーツ団体及び施設運営者の協力のもとイベント時の来訪者に対しアンケートカードを配布し、回答者に対しては、抽選で沖縄市特産品をプレゼント。 ○琉球ゴールデンキングス、FC 琉球、琉球アスティーダ、RIZIN の計 6 イベントにおいてアンケートを実施
実施日	①11/13（土）：沖縄アリーナ 「琉球ゴールデンキングス」対「群馬クレインサンダーズ」 ②11/13（土）：タピック県総ひやごんスタジアム 「FC 琉球」対「ジェフユナイテッド市原・千葉」 ③11/14（日）：沖縄アリーナ 「琉球ゴールデンキングス」対「群馬クレインサンダーズ」 ④11/20（日）：沖縄アリーナ Yogibo presents RIZIN.32 ⑤12/15（水）：沖縄アリーナ 「琉球ゴールデンキングス」対「京都ハンナリーズ」 ⑥12/21（火）：沖縄アリーナ アスティーダフェスティバル
回収数	○琉球ゴールデンキングスホーム戦（3試合）：153 票 ○FC 琉球ホーム戦（1試合）：39 票 ○その他イベント（RIZIN 及びアスティーダフェスティバル）：28 票
質問項目	①基本属性：居住地／性別・年齢・職業／来訪経験／観戦した試合等 ②来訪目的・観光行動：行程／目的／情報源／訪問箇所／移動手段 ③消費行動：市内での消費額（宿泊・交通・食事 等） ④沖縄市の評価：再訪意向等 ⑤その他：行動変容のポイント（何があれば観戦・観賞前後に市内に来訪・周遊してもらえるか等） 等

(3) 経済波及効果の推計

通年で沖縄市に訪れる観光客によって、市内にどの程度の経済効果がもたらされているかを推計するために調査・分析を行った。

推計に際しては、沖縄市独自で産業連関表を作成されていないことを踏まえ、「観光経済波及効果簡易推計システム」(H26 経済産業省)をベースとし、各種データを取りまとめた。

経済波及効果の推計にあたって、「観光入込客数の推計」、「平均消費単価の算出」、「域内調達率の推計」を行った。(推計の概要は次ページに示す。)



【経済波及効果の推計の概要】

【観光入込客数の推計】

調査対象	沖縄市の観光客数（総数、宿泊数・日帰客数）
出典元	過年度の調査結果を活用
調査方法	○宿泊客数：沖縄市観光振興課が整理している延宿泊者数から、実宿泊者数を算出 ○日帰客数：携帯GPS調査の日帰り率を用い、実宿泊者数をベースに算出
調査対象	○宿泊施設：宿泊施設統計調査対象施設16箇所、追加対象施設39箇所 ○日帰地域：沖縄市全域
対象時期	宿泊客数：令和元年暦年分、滞在日数：令和元年Web調査 日帰り率：平成30年、令和元年、令和2年度分

【平均消費額単価の算出】

調査対象	沖縄市内の平均消費額（宿泊・日帰客）
出典元	過年度の調査結果を活用
調査方法	○過年度のアンケート調査結果にて、宿泊・日帰客単価を整理 ○不足する項目の消費額を推計
対象時期	○平成30年度業務アンケート調査（ハイシーズン、オフシーズン） ※県内・県外・海外/日帰り・宿泊/金額回答のある328票を対象

【域内調達率の推計（市内事業者へのアンケート調査）】

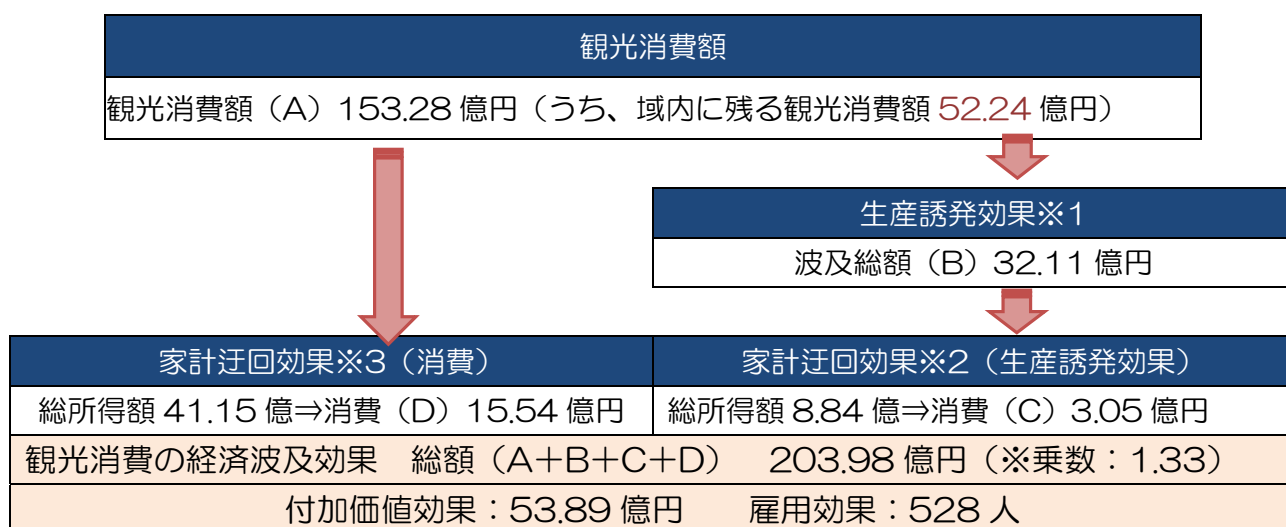
調査対象	①沖縄市観光物産振興協会に加盟している事業者等（92 事業所） ②沖縄市観光バリアフリー調査回答事業者（107 事業所） ※①・②の重複を除いた 164 事業者を対象に実施 ただし、調査対象者数は、宛先不明などとして返答されてきた 4 事業所を除いた <u>160 事業所</u> とする。
実施方法	○沖縄市の封筒にて郵送 ○料金後納封筒にて回収 ○電話等で調査票の受領を確認 ○回収の一部施設に対しては、電話等で協力依頼を実施（督促）

🍷 沖縄市における観光客の経済波及効果（推計）

■ 観光入込客数（実人数）は約 157 万人、観光消費額は約 153 億円と推計

観光入込客数		1,566,087 人			
総観光消費額		15,328 百万円			
属性		観光入込客数（人）	観光消費額単価（円）	観光消費額（百万円）	
県内	日帰り	682,622	2,490	1,700	1,902
	宿泊	22,566	8,955	202	
県外	日帰り	584,024	9,347	5,459	9,563
	宿泊	115,406	35,568	4,105	
外国人	日帰り	107,377	12,426	1,334	3,863
	宿泊	54,092	46,742	2,528	

■ 観光消費額約 153 億円に対する経済波及効果は総額約 204 億円と推計



(4) 観光バリアフリー実態調査

沖縄市において、「バリアフリー観光の推進」は沖縄市観光振興基本計画の中の柱の一つとして位置付けられている。ハード整備を推進するとともに、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合える「心のバリアフリー」を推進し、誰もが安心して楽しめる観光地づくりを推進している。上記背景のもと、市内事業者の観光バリアフリー取組状況等を把握し、今後の施策につなげることを目的として、宿泊施設や観光関連施設等を対象にアンケート調査を実施した。

【観光バリアフリー実態調査の実施概要】

調査対象	○「KozaWeb」に掲載のある事業者（620 事業所） ○沖縄市観光物産振興協会に加盟している宿泊事業者等（59 事業所） ※ただし、調査対象有効事業者数は、宛先不明などとして返答された 101 事業所を除いた 578 事業所とした。
調査方法	○沖縄市の封筒にて郵送 ⇒メールや FAX、回答者の持参にて、沖縄市観光物産振興協会が回収
回答者数 (サンプル数)	○「KozaWeb」掲載事業者：88 票 ○協会加盟の宿泊施設：19 票
調査内容	1. 施設の整備状況および取組状況について (1) バリアフリーの整備状況 (2) 対象者ごと（肢体不自由者・高齢者、視覚、聴覚、食物アレルギー、LGBTQ、インバウンド）の取組状況 2. 接遇・対応に関する取組状況について 3. バリアフリー観光に関する認知度、バリアフリー観光に対する意識 4. バリアフリー観光に係る取組を推進する上での課題、今後の取組意向 5. 施設・団体の基本情報

第2章 観光実態調査

2-1. 観光統計調査の整理

(1) 本調査の概要

国や沖縄県、沖縄市が公表している既存の統計データ等を用いて、沖縄市観光の現状やポテンシャル等を把握することを目的として、調査・分析を実施した。

(2) 調査の実施方針

国や県の観光統計を分析するとともに、沖縄市の動向と比較することで、沖縄市観光の置かれている状況の分析を行った。宿泊客数、観光客の属性の視点から分析を行い、月別・季節毎の沖縄市観光及びインバウンドの状況を整理した。

また、市内宿泊施設と連携し、沖縄市における宿泊実績等を収集・整理した。

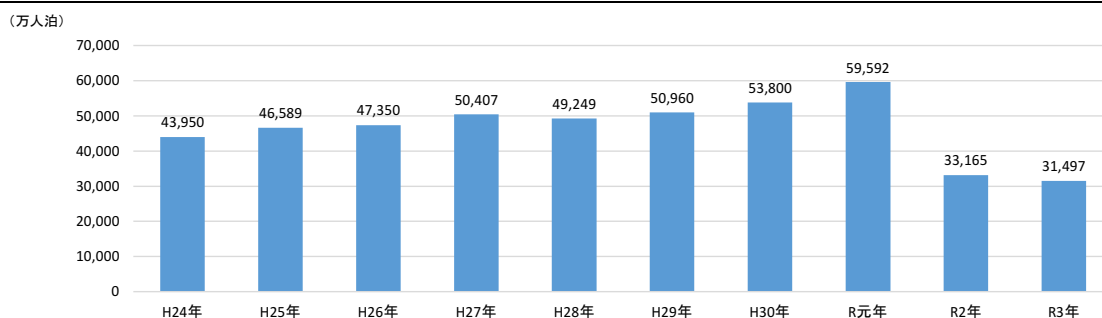
【観光統計調査の実施項目】

観光統計の整理	◇全国観光入込客統計（観光庁） ◇宿泊旅行統計調査（観光庁） ◇旅行・観光消費動向調査（観光庁）◇国籍／月別 訪日外客数（JNTO） ◇観光要覧（沖縄県） ◇観光統計実態調査（沖縄県） ◇外国人観光客実態調査（沖縄県）◇主要観光施設入場者数（沖縄市） ◇宿泊実績調査（沖縄市） <p style="text-align: right;">※（ ）は調査実施主体</p>
宿泊実績等の 収集・整理	◇延べ宿泊客数（月別） ◇実人数（月別） ◇定員稼働率 ◇客室稼働率 ◇宿泊客の出身地（国内客は都道府県、海外客は国籍）

(3) 調査・分析結果

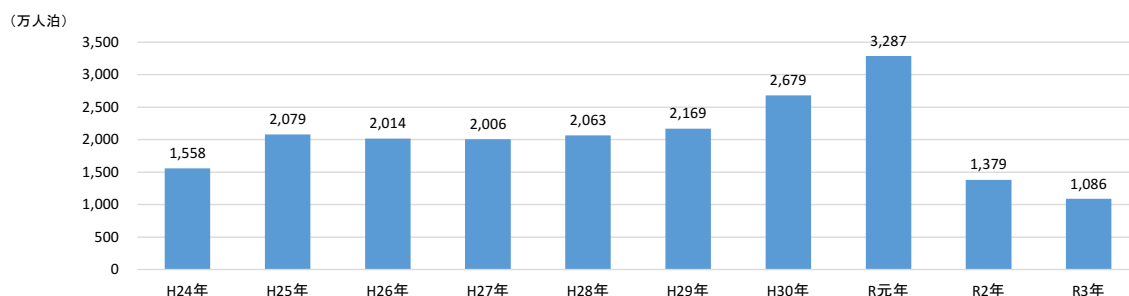
①延べ宿泊者数の年別推移（平成24年～令和3年）

- 令和3年（暦年）の宿泊者数は、令和2年から引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国内・県・沖縄市のいずれにおいても前年と比較し大きく減少している。
- 国内の年間宿泊者数は、令和2年と同程度の約3億人泊となっており、令和元年と比較すると半数近く減少している。
- 沖縄県の年間宿泊者数は、約1,086万人泊であり、令和元年と比較すると約6～7割近く減少しており、令和2年の約2割減となっている。
- 沖縄市の継続的に取得している10施設を対象とした年間宿泊者数は、令和2年度と同程度の年間約10万人泊であり、令和元年と比較すると約6～5割減の状況である。



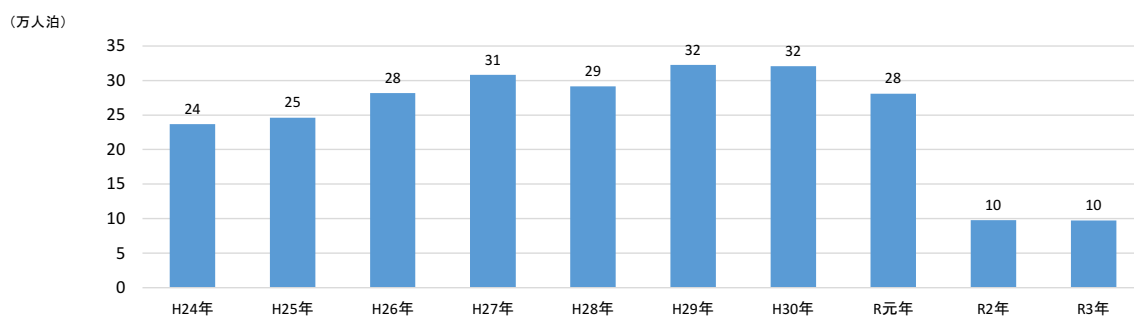
【日本国内における延べ宿泊数の推移（平成24年～令和3年）※暦年】

出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）



【沖縄県における延べ宿泊数の推移（平成24年～令和3年）※暦年】

出典：宿泊旅行統計調査（観光庁）



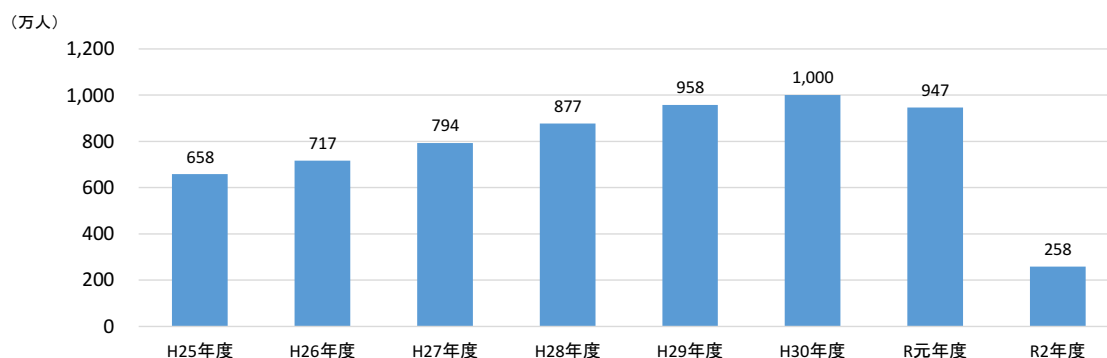
【沖縄市における延べ宿泊数の推移（平成24年～令和3年）※暦年】

出典：宿泊統計調査（沖縄市観光物産振興協会）

②観光入込客数の年別推移（平成25年度～令和2年度）

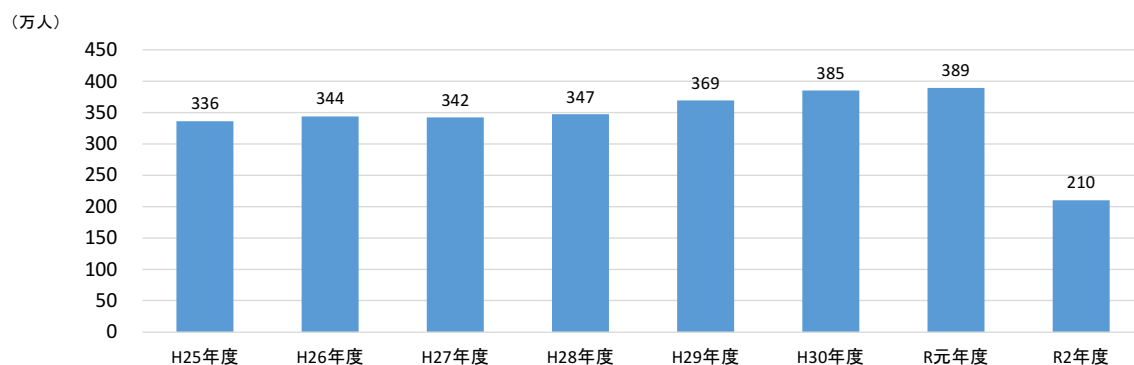
○沖縄県の観光入込客数は、平成30年度まで増加傾向にあった（平成25年度と比較すると1.52倍の増加となっている）。令和元年度より新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、減少に転じ、令和2年度は258万人となっている。

○沖縄市の市内主要観光施設（14施設）の入込客総数は210万人となっており、令和2年度より約5割減となっている。



【沖縄県における観光入込客数の推移（平成25年度～令和2年度）】

出典：観光要覧（沖縄県）

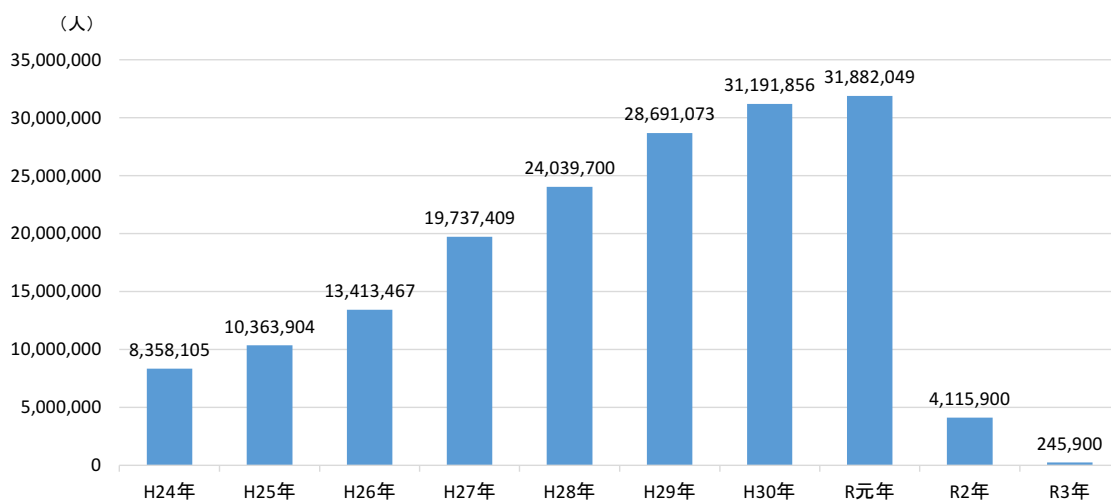


【沖縄市における主要観光施設入場者数の推移（平成25年度～令和2年度）】

出典：沖縄市観光スポーツ振興課

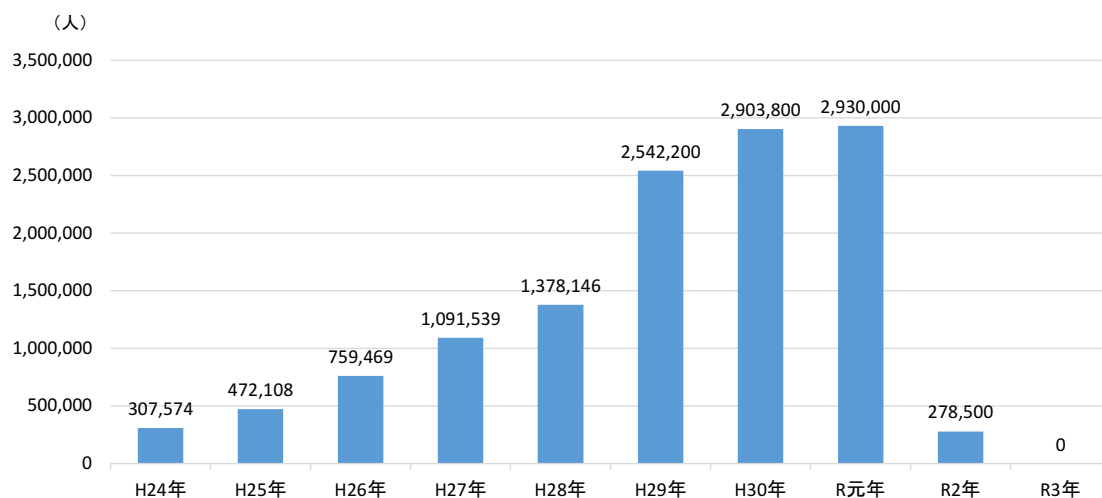
③外国人観光客数の年別推移（平成24年～令和3年（暦年））

○外国人観光客数は国、県のいずれにおいても令和元年まで増加基調にあったが、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅減。沖縄県については那覇空港から入国する外国人観光客は渡航制限により皆減となっている。



【日本国における訪日外国客数の年別推移（平成24年～令和3年）※暦年】

出典：国籍／月別 訪日外客数（JNTO）



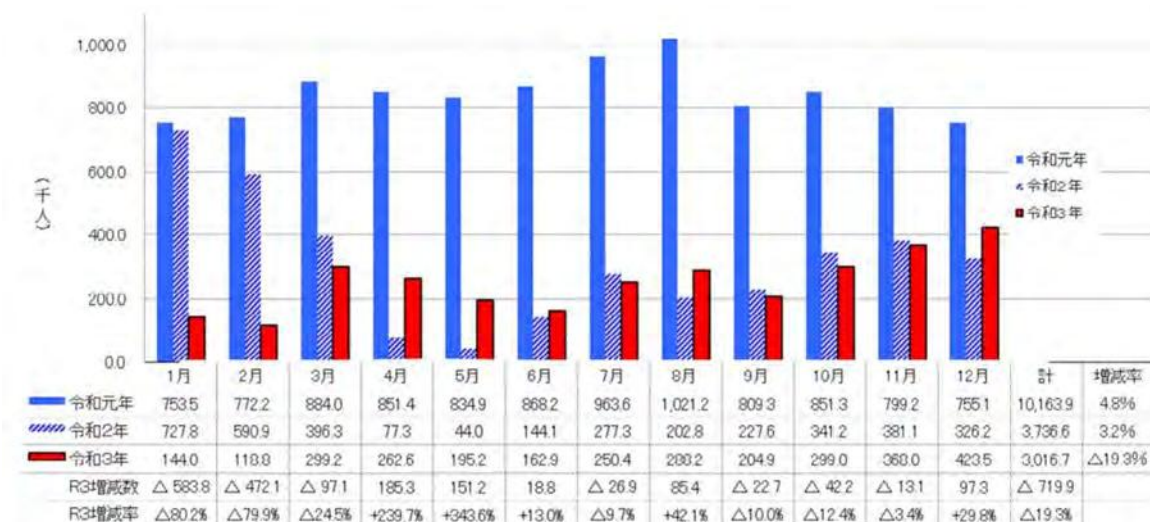
【沖縄県における訪日外国客数の年別推移（平成24年～令和3年）※暦年】

出典：沖縄県入域観光客統計（沖縄県）

④沖縄県における観光入込客の月別推移比較（令和元年～令和3年）

○沖縄県の月別の観光入込客数の推移をみると、令和2年3月以降より過去最大の減少幅を記録していた。

○令和3年は4月、5月、6月、8月、12月では令和2年を上回る観光入域客数となっているが、依然として厳しい状況である。



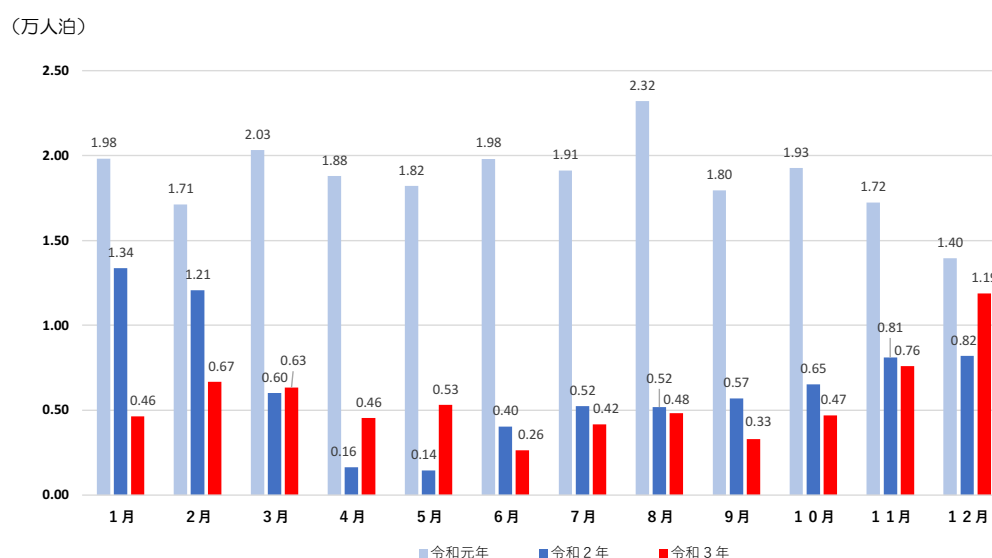
【沖縄県における観光客入込客数の月別推移】

出典：入域観光客統計概況（沖縄県）

⑤沖縄市における延べ宿泊者数の月別推移比較（令和元年～令和3年）

○継続的に月別の延べ宿泊者数を取得している市内宿泊施設（6施設）を対象にみると県全体の傾向と同様にコロナ前の令和元年と比較すると大きく減少している。

○令和3年は3月、4月、5月、12月と令和2年の延べ宿泊者数を超える月もあるが依然として厳しい状況である。



【沖縄市における延べ宿泊者数の月別推移】

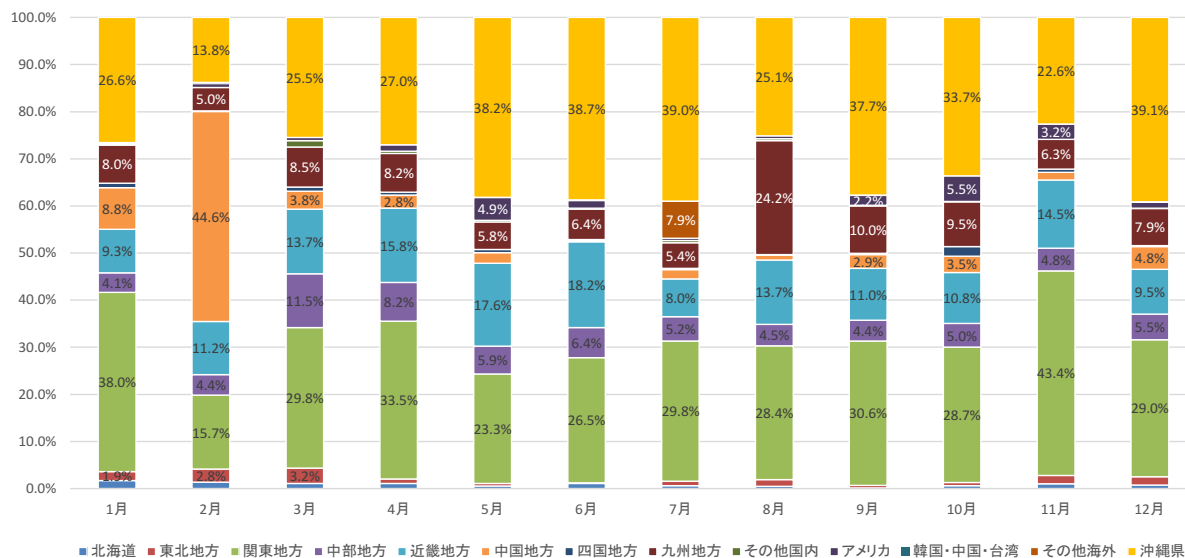
出典：宿泊統計調査（沖縄市観光物産振興協会）

⑥ 沖縄市内延べ宿泊者の居住地別・月別の割合（令和3年）

○令和3年の沖縄市内の延べ宿泊者の居住地別の割合を月別に以下に示す。

○通年を通じて、沖縄県のほか、関東地方、近畿地方が多い傾向にある。

○2月は中国地方が最も多く広島東洋カープの沖縄キャンプの影響と推察される。



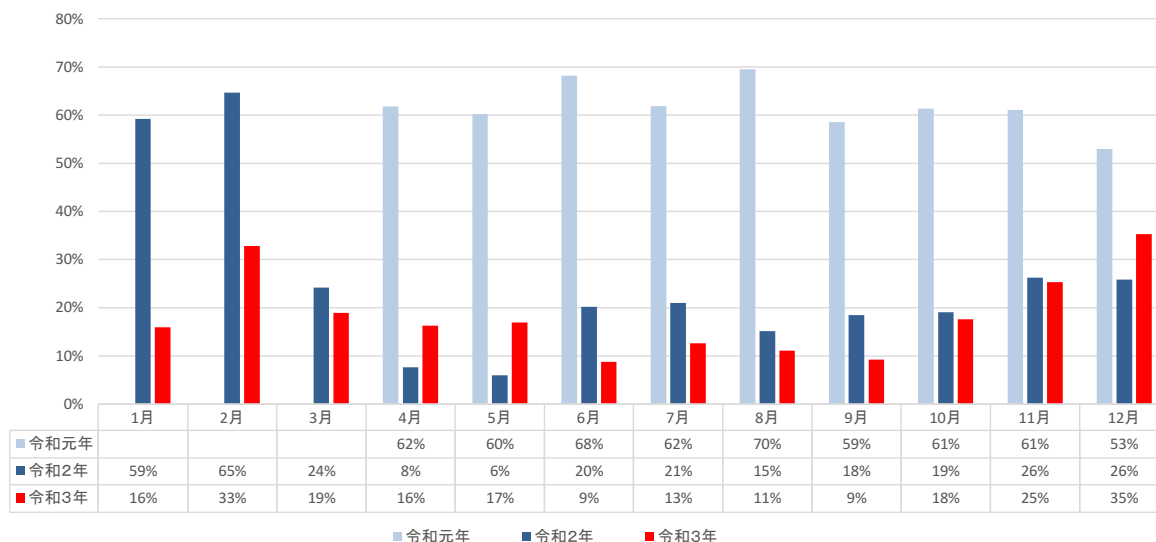
【市内宿泊者の居住地（地方区分別）割合】

出典：宿泊統計調査（沖縄市観光物産振興協会）

⑦沖縄市の月別の客室稼働率および定員稼働率（令和2年～3年）

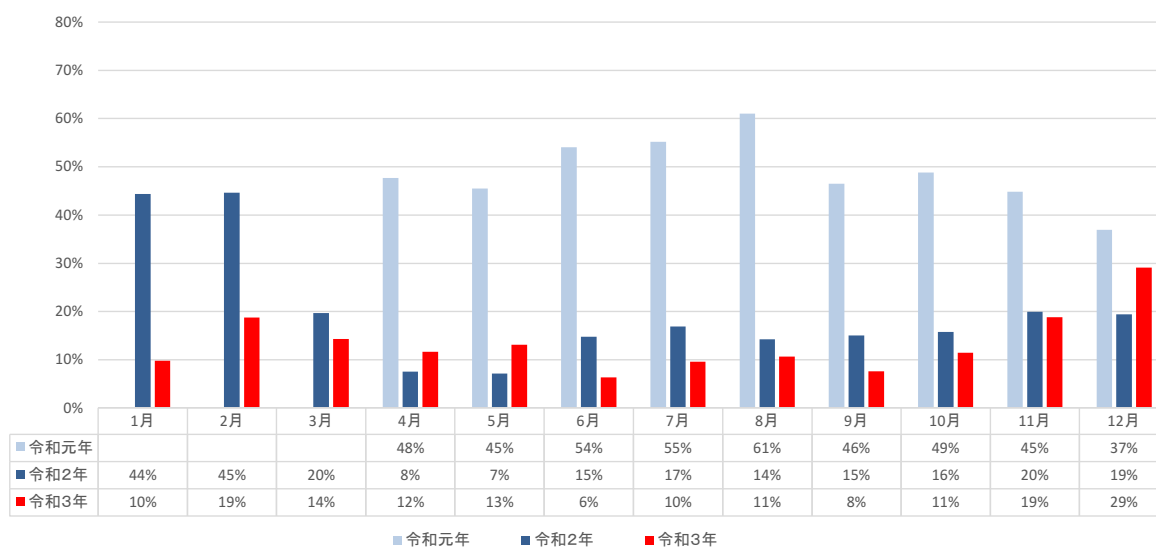
○継続的に月別の客室稼働率及び定員稼働率が取得できている4施設を対象に令和2年から令和3年の実績を以下に示す。

○令和3年はプロスポーツキャンプ時期である2月や緊急事態宣言やまん延防止措置等の期間外である11月から12月の客室稼働率および定員稼働率が高い。



【沖縄市における月別の客室稼働率の推移】

出典：宿泊統計調査（沖縄市観光物産振興協会）



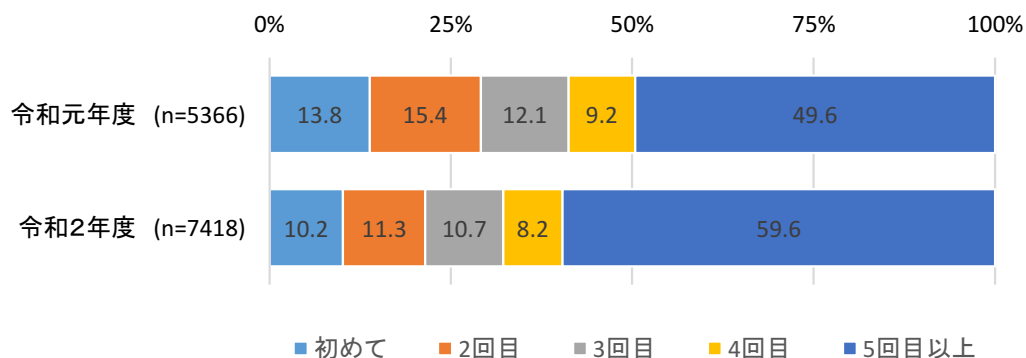
【沖縄市における月別の定員稼働率の推移】

出典：宿泊統計調査（沖縄市観光物産振興協会）

⑧観光客の来訪回数（令和元年度～令和3年度）

- 沖縄県については、令和2年度の来訪回数5回目以上の割合は約6割となっており、令和元年度の約5割より増加している。
- 沖縄市への来訪者については、令和3年度の来訪回数5回目以上の割合は約5割となっており、令和元年度の約3割から増加している。
- 沖縄県、沖縄市ともに来訪回数の多いリピーターが増加している傾向にある。

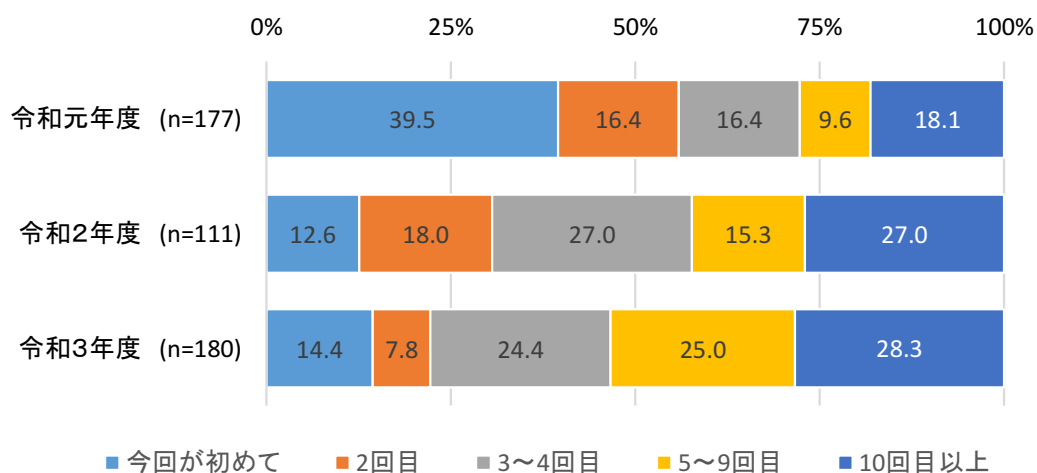
■沖縄県に訪れた観光客（国内客）の来訪回数



【沖縄県に訪れた国内客の来訪回数（令和元年度・令和2年度）】

出典：観光統計実態調査（沖縄県）

■沖縄市に訪れた観光客（国内県外客）の来訪回数



【沖縄市に訪れた国内客（県外客）の来訪回数（令和元年度～令和3年度）】

出典：来訪客アンケート調査（沖縄市観光スポーツ振興課）

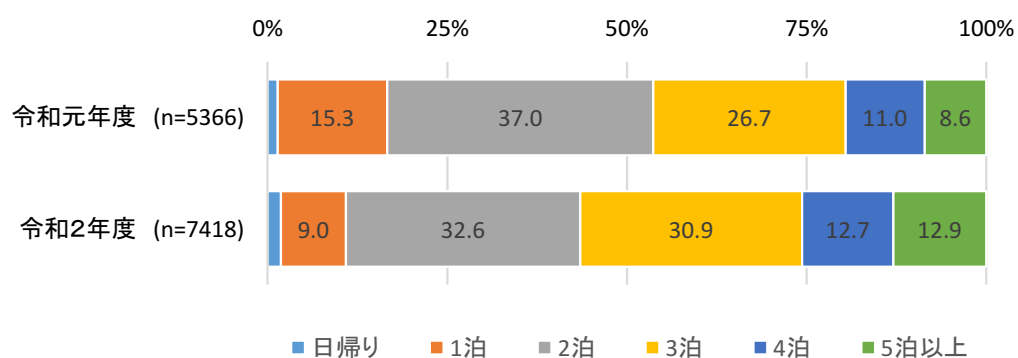
⑨観光客の滞在日数（令和元年度～令和3年度）

○沖縄県の令和2年度の滞在日数は、令和元年度より2泊以上の割合が増加しており長期滞在の傾向が強くなっている。

○沖縄市の令和3年度の滞在日数は、1泊以上の割合が87.3%となっており、同様の調査手法にて行った令和2年度より宿泊者の割合が増加している。

※なお、令和元年度調査は宿泊者のみ、令和2年度は観光施設来訪者も含めていることに留意。そのため、令和2年度調査では日帰りの割合が増加している。

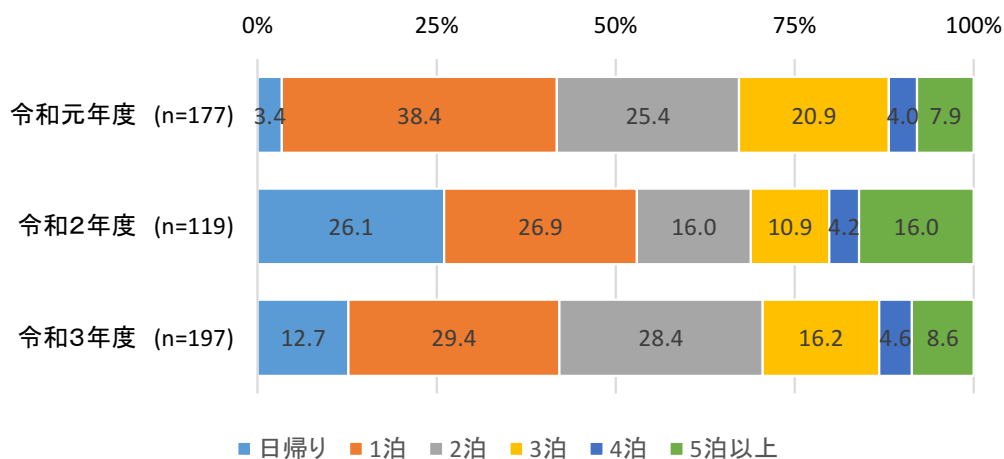
■沖縄県に訪れた観光客（国内客）の滞在日数



【沖縄県に訪れた国内客の滞在日数（令和元年度・令和2年度）】

出典：観光統計実態調査（沖縄県）

■沖縄市に訪れた観光客（国内県外客）の滞在日数

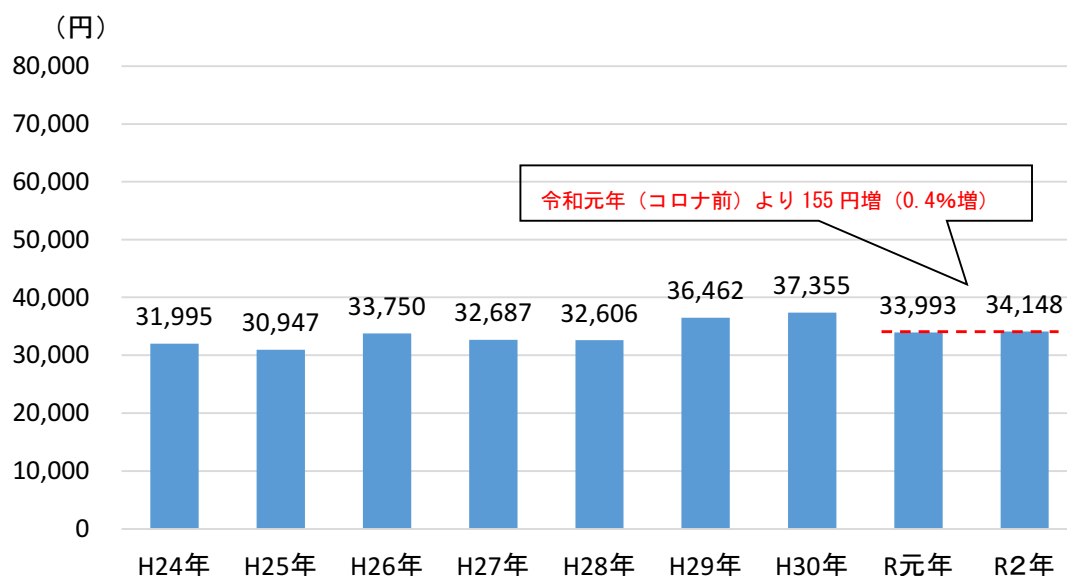


【沖縄市に訪れた国内客（県外客）の滞在日数（令和元年度～令和3年度）】

出典：来訪客アンケート調査（沖縄市観光スポーツ振興課）

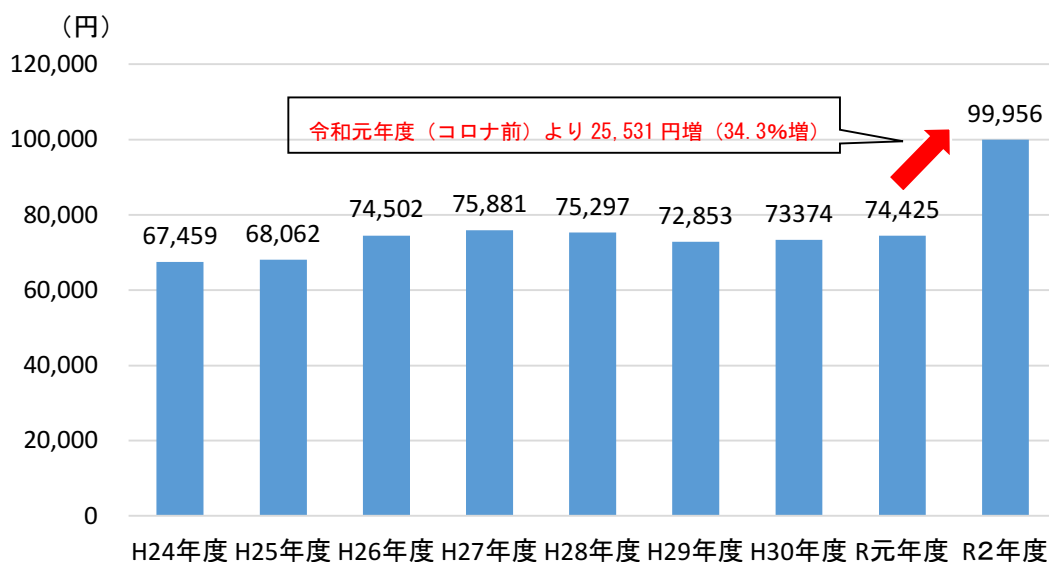
⑩観光消費額単価の推移（平成24年度～令和2年度）

○日本国内全体では、コロナ前（令和元年）より155円（0.4%）増加となっている。
 ○沖縄県では、令和元年度より25,531円（34.3%）増加となっている。
 ○国内全体と沖縄県の観光消費額単価の調査方法はそれぞれ異なるため、比較については留意が必要だが、沖縄県は他の都道府県より滞在型の観光地である傾向があるため、GO TO
 トラベル等の各種需要喚起策の影響により他の都道府県より消費額単価が増加したと推察される。



【日本国内における観光客一人あたりの旅行単価（平成24年～令和2年）暦年】

出典：旅行・観光消費動向調査（観光庁）



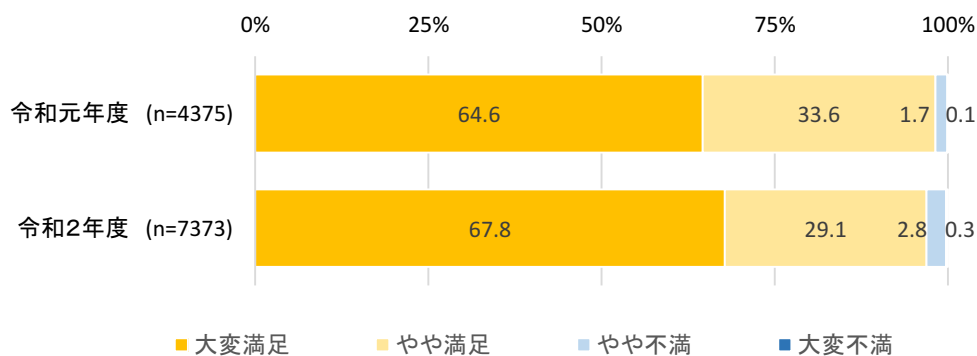
【沖縄県における観光客一人あたりの旅行単価（平成24年度～令和2年度）】

出典：観光統計実態調査（沖縄県）

⑪観光客の満足度（令和元年度～令和3年度）

○令和2年度の沖縄県の「大変満足」は、令和元年度より約3pt増加している。
 ○令和3年度の沖縄市の「大変満足」は、令和2年度より11pt増加し、「大変満足」及び「ほぼ満足」が97.5%を占めている。

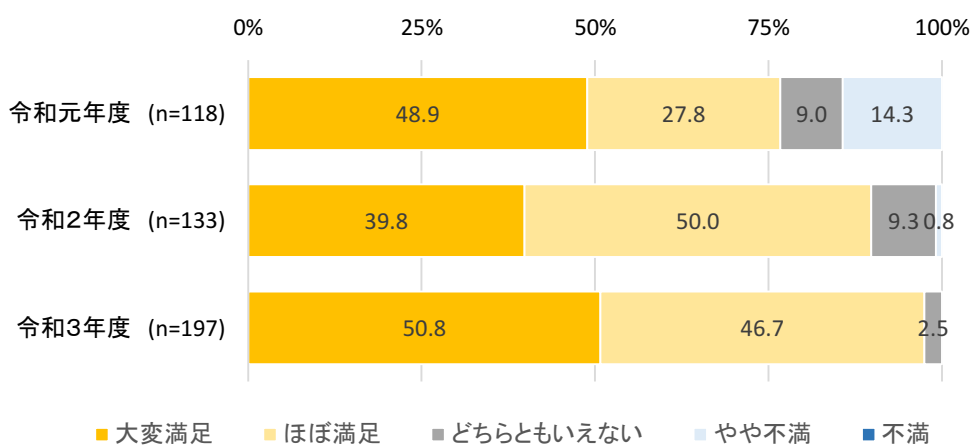
■沖縄県に訪れた観光客（国内客）の満足度



【沖縄県に訪れた国内客の満足度（令和元年度・令和2年度）】

出典：観光統計実態調査（沖縄県）

■沖縄市に訪れた観光客（国内県外客）の満足度



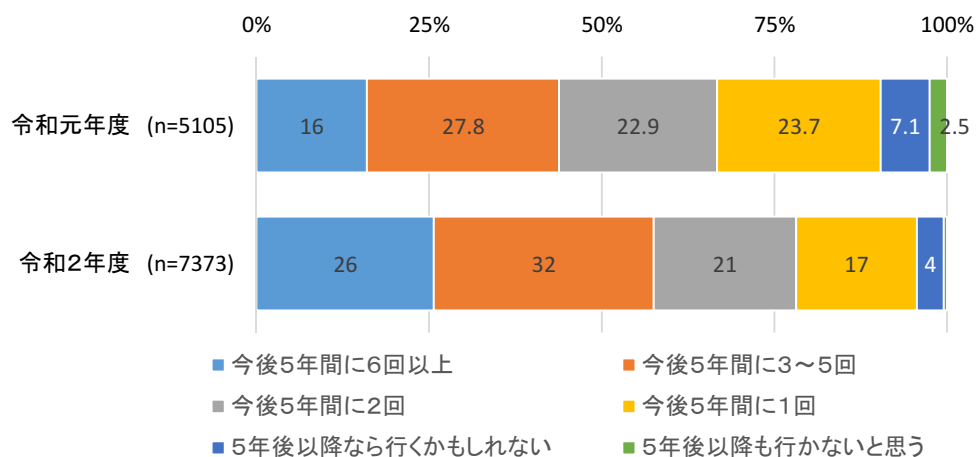
【沖縄市に訪れた国内客（県外客）の来訪回数（令和元年度～令和3年度）】

出典：来訪客アンケート調査（沖縄市観光スポーツ振興課）

⑫観光客の再訪意向（令和元年度～令和3年度）

○沖縄県の国内客は、今後5年間に1回以上の再訪意向がある割合は約9割となっている。
 ○沖縄市の国内県外客の再訪意向は令和2年度より増加し、「次回訪問の予定がある」及び「予定はないが是非訪れたい」は全体の約8割となっている。

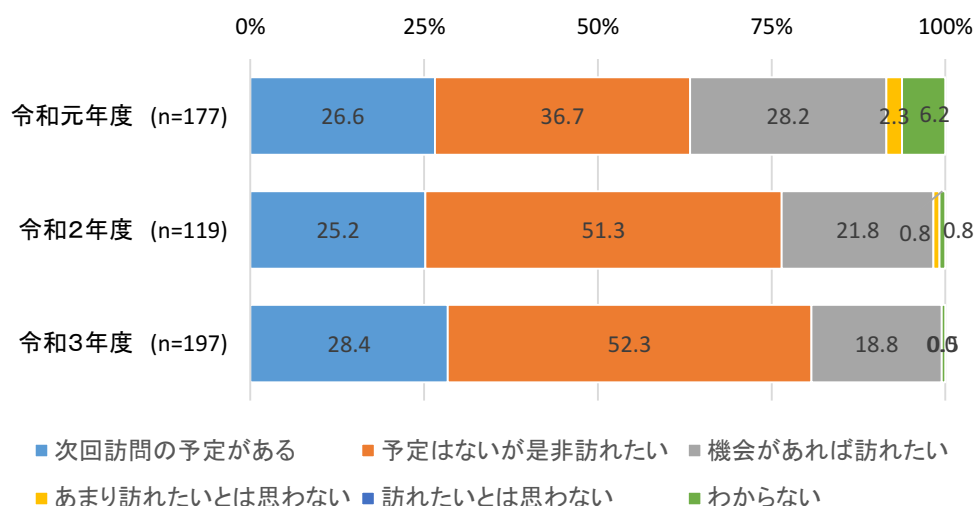
■沖縄県に訪れた観光客（国内客）の再訪意向



【沖縄県に訪れた国内客の今後5年間の再訪意向（令和元年度・令和2年度）】

出典：観光統計実態調査（沖縄県）

■沖縄市に訪れた観光客（国内県外客）の再訪意向



【沖縄市に訪れた国内客（県外客）の再訪意向（令和元年度～令和3年度）】

出典：来訪客アンケート調査（沖縄市観光スポーツ振興課）

2-2. 令和2年度を対象としたデータ分析（携帯 GPS 調査）

(1) 調査目的

沖縄市に来訪する国内県外観光客の発地場所、立ち寄り場所、宿泊地、滞在時間等を携帯位置情報データより把握し、マーケティングに資する分析を行った。

昨年度まではKDDIの位置情報ビッグデータによる分析を行ってきたが、令和2年度についてはコロナ禍による来訪者の減少等によりワンキャリアのみのデータではサンプル数の不足が想定されたため、今年度はブログウォッチャー社の全キャリア横断型の携帯 GPS データにより分析を行った。

(2) 調査概要

調査概要を以下に示す。

【データ分析（携帯 GPS 調査）の実施項目】

調査対象	○沖縄市内に30分以上滞在した国内県外居住者 ⇒ 市内居住者・通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞在者、長期滞在者及び高頻度滞在者は除外
調査方法	○ブログウォッチャー社が提携するスマートフォンアプリユーザーから位置情報取得の同意を得て、個人が特定できない様に加工した携帯 GPS データや属性情報等を利用して分析を実施
調査期間 (データ取得期間)	○令和2年4月1日～令和3年3月31日 ※以下、4つの期間を設定し、対象期間内の詳細な分析を実施 期間1：令和2年4月1日～令和2年6月30日 期間2：令和2年7月1日～令和2年9月30日 期間3：令和2年10月1日～令和2年12月31日 期間4：令和3年1月1日～令和3年3月31日
対象データ数	4,273人（日帰り：130人、宿泊：4,143人）
分析項目	①属性分析：性別・年齢層ごとの来訪者数 ②発地分析：発地（都道府県、市区町村）ごとの来訪者数 ③立寄り分析：市区町村ごと、250mメッシュごとの立寄り比率 ④旅程分析：旅程別の来訪者数、宿泊場所区分別の宿泊人泊数 ④宿泊地分析：市区町村ごとの宿泊人泊数 ⑤昼間滞在時間分析：昼間の滞在時間
観光エリア	○市内8箇所、市外2箇所の計10箇所 ①県総合運動公園 ②コザ運動公園 ③沖縄こどもの国 ④東南植物楽園 ⑤プラザハウス ⑥一番街 ⑦中の町 ⑧グランメールリゾート ⑨北谷アメリカンビレッジ（市外） ⑩イオンモール沖縄ライカム（市外）

(3) 調査結果

1) 前提条件

前提条件	
調査目的	【沖縄市】に來訪した人（日帰り・宿泊）の観光動態調査。 沖縄市來訪者の全体傾向の把握（基礎集計）、および観光エリア単位の來訪者特徴の分析（観光エリア分析）
調査対象	沖縄市内に30分以上滞在した人。 ただし、沖縄県居住者、沖縄市通勤者、主要非観光施設（スーパー等）のみ滞在者、長期旅程者、および高頻度來訪者を除外。また、生活圏のデータは除外。
調査方法	スマートフォンアプリ利用者から個別に許諾を得て取得したGPS位置情報データ。 ※データは個人を特定できない形式に加工して使用
調査期間	2020年4月1日～2021年3月31日 期間1：2020年4月1日～2020年6月30日 期間2：2020年7月1日～2020年9月30日 期間3：2020年10月1日～2020年12月31日 期間4：2021年1月1日～2021年3月31日 ※但し、期間内に出発し、期間終了後7日経過前に帰着したデータを含む。
調査対象ユーザー数 （來訪者数）	通期：4,273人
ウェイトバック補正	位置情報取得者数の変動及び居住地の偏りのウェイトバック補正処理を各月で実施。 ※位置情報取得者数の変動は、2020年4月を基準月とし時系列補正を実施 ※居住地の偏りは、最新の人口統計（平成27年国勢調査）を用いて補正を実施
秘匿処理	來訪者が少ない区分は、プライバシー保護の観点からブランクもしくは「****」と表示。
利用上の注意	資料上の來訪者数は、小数点第一位以下を四捨五入した後の数値を表記。そのため、資料上の來訪者数を単純合計した値と資料上に表記されている合計來訪者数に微差が生じる場合がある。來訪者数に小数点以下の数値が出現することは、ウェイトバック補正処理に起因する。

前提条件		
分析定義 <区分>		
地域	北海道	北海道
	東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
	関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
	中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
	近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
	中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
	四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
	九州・沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
	性別	男性・女性
年齢層	20～29歳、30～39歳、40～49歳、50歳以上	
來訪旅程	日帰り、宿泊（1泊、2泊以上）	
宿泊場所	域内泊、域外泊	
観光エリア	P7～16を参照	

前提条件

分析定義 <判定>

来訪平日判定	旅程に1日でも休日が含まれていたら休日来訪者、旅程の全ての日が平日なら平日来訪者とする。
宿泊地判定	22時～翌日5時の間に滞在したメッシュのうち最も長く滞在した場所を宿泊市区町村とする。
宿泊場所区分判定	沖縄市内での宿泊を域内泊、沖縄市外での宿泊を域外泊とする。
昼間判定	9時00分～20時59分の間に滞在した来訪者を対象とする。
立寄り市区町村判定	旅程内に30分以上滞在した市区町村を立寄り市区町村とする。
観光エリア来訪判定	沖縄市内の10つの観光エリアに対して、各観光エリアに15分以上滞在した人を来訪者とする。

分析定義 <集計数値>

滞在時間	沖縄市来訪者及び観光エリア来訪者の平均滞在時間
平均周遊箇所数	沖縄市来訪者が観光エリアを周遊した平均箇所数
性年代構成比	20～79歳の性年代判明者の構成比を算出。 *性年代判明者の偏りは最新の人口統計（平成27年国勢調査）を用いて補正を実施

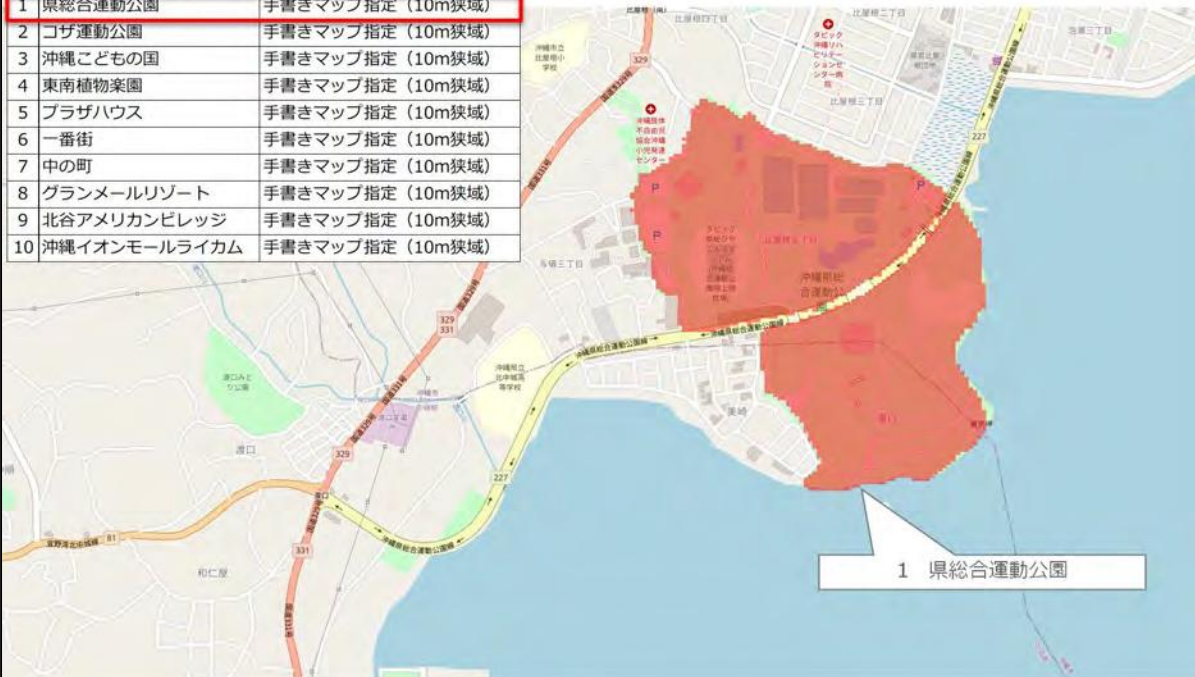
前提条件

分析内容

基礎集計	属性分析	性別・年齢層ごとの来訪者数を算出	
	発地分析	発地地域・都道府県・市区町村ごとの来訪者数を算出	
	立寄り分析	市区町村ごと・250mメッシュごとに立寄り比率を算出	
	旅程分析	旅程別の来訪者数及び宿泊場所区分別の宿泊人泊数を算出	
	宿泊地分析	市区町村ごとに宿泊人泊数を算出	
	昼間滞在時間分析	昼間の滞在時間を算出	
観光エリア分析	観光エリア別	属性分析	性別・年齢層ごとの来訪者数を算出
		発地分析	発地地域・都道府県・市区町村ごとの来訪者数を算出
		周遊箇所数分析	平均周遊箇所数を算出
		周遊分析	観光エリア間の周遊をルートごとに性別・年齢層ごとの周遊者数を算出
		旅程分析	旅程別の来訪者数及び宿泊場所区分別の宿泊人泊数を算出
		域内泊数分解分析	域内泊数を各指標により分解
		昼間滞在時間分析	昼間の滞在時間を算出

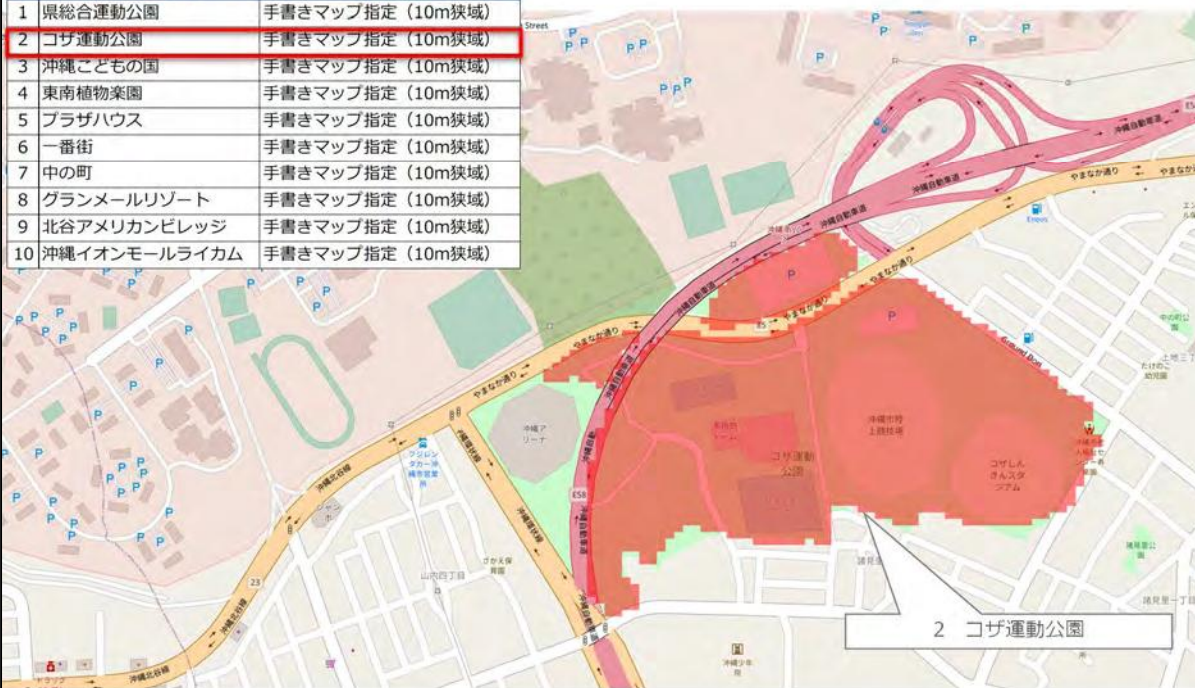
前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



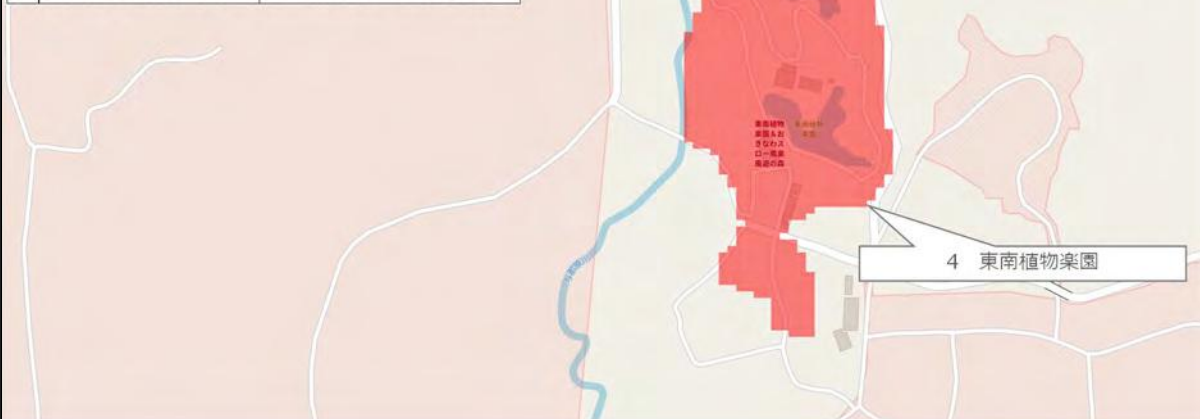
前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



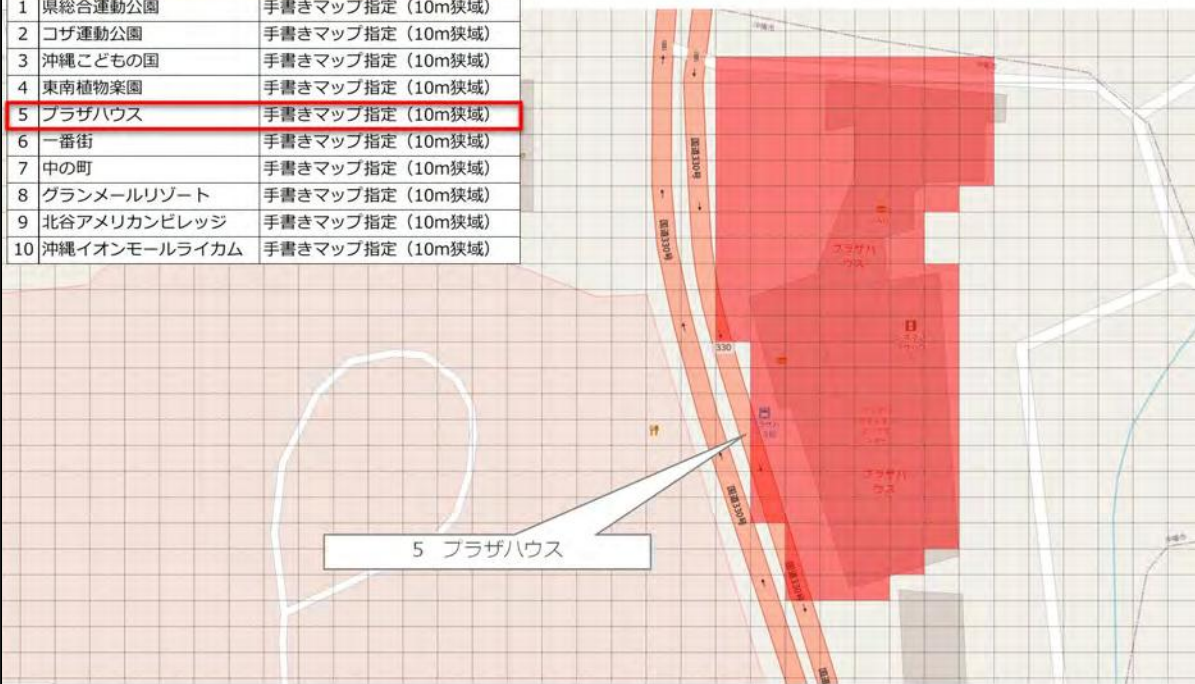
前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 -沖繩市内観光エリア-

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 -沖繩市内観光エリア-

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



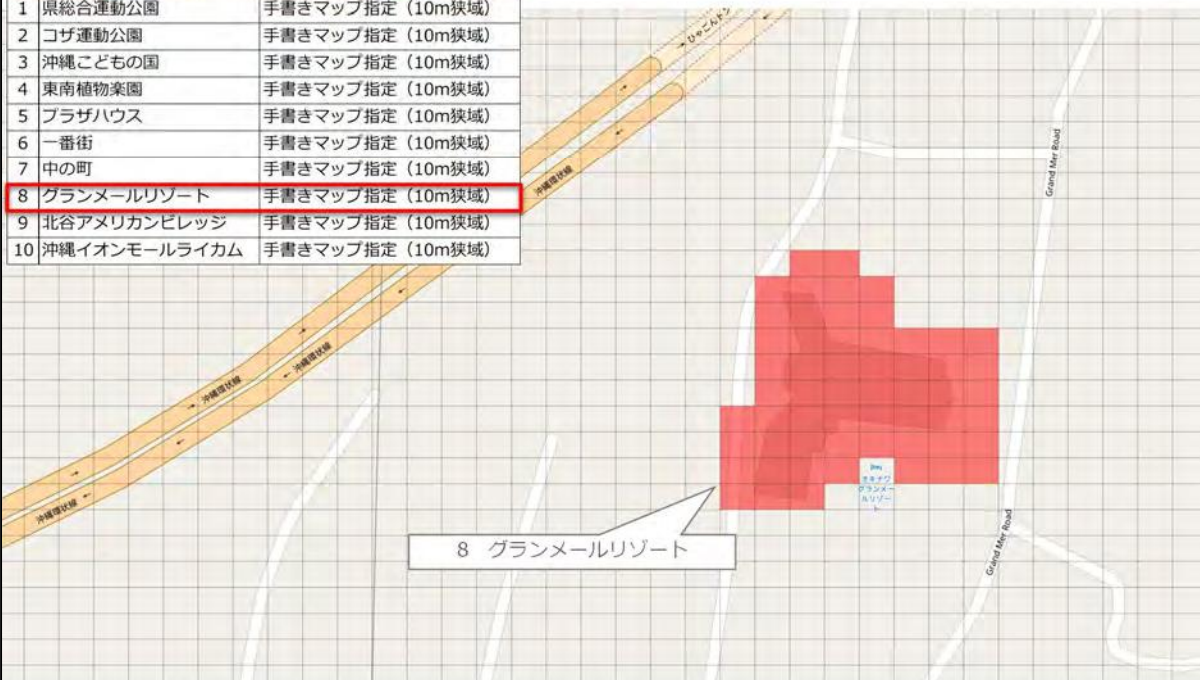
前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 - 沖縄市内観光エリア -

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



前提条件 -沖繩市内観光エリア-

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



9 北谷アメリカンビレッジ

前提条件 -沖繩市内観光エリア-

No	観光エリア名	指定方法
1	県総合運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
2	コザ運動公園	手書きマップ指定 (10m狭域)
3	沖縄こどもの国	手書きマップ指定 (10m狭域)
4	東南植物楽園	手書きマップ指定 (10m狭域)
5	プラザハウス	手書きマップ指定 (10m狭域)
6	一番街	手書きマップ指定 (10m狭域)
7	中の町	手書きマップ指定 (10m狭域)
8	グランメールリゾート	手書きマップ指定 (10m狭域)
9	北谷アメリカンビレッジ	手書きマップ指定 (10m狭域)
10	沖縄イオンモールライカム	手書きマップ指定 (10m狭域)



10 沖縄イオンモールライカム

2) サマリー

沖縄市の全体来訪者は4,273人。来訪者の属性は男性が66.6%、年齢層別では50歳以上が35.7%を占める。
 発地都道府県をみると、福岡県発地者が18.1%で最も多く、市区町村別では福岡県福岡市博多区、福岡県福岡市東区、福岡県福岡市中央区が多い。
 沖縄市来訪者の約83%が2泊以上の旅行者。宿泊旅程のうち域内（＝沖縄市内）宿泊率は25.7%。7割以上が沖縄市外へ宿泊流出している。
 宿泊地は那覇市が最も多く、約34%。ついで沖縄市、恩納村が多い。立寄り市区町村は那覇市について、うるま市、大田区への立ち寄りが多い。
 観光エリアは「北谷アメリカンビレッジ」「沖縄イオンモールライカム」「中の町」への来訪率が高い。
 2箇所以上の観光エリア来訪率は67.4%。周遊ルートは「一番街⇔中の町」が多い。

全体来訪者		
4,273人		

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性	20～29歳	66.6%
	30～39歳	8.7%
	40～49歳	14.2%
	50歳以上	19.3%
		24.4%
女性	20～29歳	33.4%
	30～39歳	7.4%
	40～49歳	6.2%
	50歳以上	8.5%
		11.2%

発地		
順位	都道府県名	構成比
1	福岡県	18.1%
2	東京都	16.5%
3	大阪府	9.2%
4	神奈川県	9.0%
5	愛知県	6.4%

市区町村名		
順位	市区町村名	構成比
1	福岡県福岡市博多区	2.9%
2	福岡県福岡市東区	1.8%
3	福岡県福岡市中央区	1.6%
4	東京都練馬区	1.6%
5	東京都世田谷区	1.4%

宿泊傾向把握			
滞在しているのか、どこに宿泊しているのか			
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）	
日帰り率	3.1%		
1泊率	14.1%	域内宿泊	
		域内宿泊率	25.7%
2泊以上率	82.9%	域外宿泊	
		域外宿泊率	74.3%
平均泊数	2.82	順位	宿泊率
		1	25.7%
		2	
		3	
		4	

滞在・周遊傾向把握			
どこに滞在し、どこを周遊しているのか			
立寄り		観光エリア	
順位	市区町村名	立寄り率	観光エリア名
1	那覇市	88.7%	50.0%
2	北谷町	30.6%	2箇所以上来訪率
3	うるま市	28.6%	67.4%
4	大田区	24.3%	
5	北中城村	23.2%	

観光エリア		
順位	周遊ルート	来訪率
1	一番街⇔中の町	11.8%
2	沖縄イオンモールライカム⇔グランメルリゾート	5.4%
3	一番街⇔北谷アメリカンビレッジ	4.9%
4	一番街⇔中の町⇔北谷アメリカンビレッジ	3.0%
5	グランメルリゾート⇔北谷アメリカンビレッジ	2.9%

※2箇所以上来訪者に占める来訪率

「県総合運動公園」 サマリー

「県総合運動公園」来訪者は89人。来訪者の属性は男性が70.4%、年齢層別では20～29歳が30.1%を占める。
 発地都道府県をみると、東京都発地者が15.6%を占め、市区町村別では長野県松本市、群馬県高崎市、神奈川県横浜市保土ヶ谷区が多い。
 旅程は2泊以上が多く85.9%で、観光エリア内第7位。平均泊数は2.8日。
 域内（＝沖縄市内）泊率は25.6%で観光エリア内第7位。約74%が域外へ宿泊流出している。
 平均周遊箇所数は1.61箇所、観光エリア内第9位。「沖縄イオンモールライカム」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:53で観光エリア内第1位。

来訪者		
89人	エリア順位	10位

属性把握		
誰が どこから来訪しているのか		
属性		
男性	20～29歳	70.4%
	30～39歳	17.3%
	40～49歳	22.0%
	50歳以上	24.4%
		29.6%
女性	20～29歳	12.8%
	30～39歳	****
	40～49歳	****
	50歳以上	****

発地		
順位	都道府県名	構成比
1	東京都	15.6%
2	福岡県	9.2%
3	大阪府	9.0%
4	千葉県	6.5%
5	埼玉県	6.5%

市区町村名		
順位	市区町村名	構成比
1	長野県松本市	****
2	群馬県高崎市	****
3	神奈川県横浜市保土ヶ谷区	****
4	京都府京都市南区	****
5	福岡県福岡市博多区	****

宿泊傾向把握			
滞在しているのか、どこに宿泊しているのか			
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）	
日帰り率	-		
1泊率	14.1%	域内宿泊	
		域内宿泊率	25.6%
2泊以上率	85.9%	域外宿泊	
		域外宿泊率	74.4%
平均泊数	2.80	エリア順位	7位
		8位	
		9位	
		10位	
		11位	

滞在・周遊傾向把握			
どこに滞在し、どこを周遊しているのか			
滞在滞在時間		観光エリア周遊	
全体	2:53	周遊指標	
エリア順位	1位	平均周遊箇所数	1.61
日帰り	****	2箇所以上来訪率	42.3%
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	57.7%
宿泊	2:53	周遊観光エリア	
エリア順位	1位	順位	来訪率
		1	17.3%
		2	15.8%
		3	13.0%
		4	****
		5	****

「コザ運動公園」 サマリー

「コザ運動公園」来訪者は93人。来訪者の属性は男性が64.9%、年齢層別では50歳以上が30.7%を占める。発地都道府県をみると、福岡県発地者が34.9%を占め、市区町村別では福岡県福岡市中央区、福岡県福岡市西区、福岡県福岡市南区が多い。旅程は2泊以上が多く79.7%で、観光エリア内第10位。平均泊数は3.08日。域内（＝沖縄市内）泊率は33%で観光エリア内第5位。約67%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.76箇所、観光エリア内第4位。「中の町」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:41で観光エリア内第2位。

来訪者		
93人	エリア順位	8位

属性把握		
誰がどこから来訪しているのか		
属性		
男性	20～29歳	64.9%
	30～39歳	34.3%
	40～49歳	13.2%
	50歳以上	11.1%
女性	20～29歳	35.1%
	30～39歳	****
	40～49歳	****
	50歳以上	19.6%

発地		
順位	都道府県名	構成比
1	福岡県	34.9%
2	神奈川県	11.1%
3	大阪府	9.7%
4	東京都	8.8%
5	広島県	6.5%

発地		
順位	市区町村名	構成比
1	福岡県福岡市中央区	8.7%
2	福岡県福岡市西区	7.7%
3	福岡県福岡市南区	4.3%
4	広島県広島市南区	4.3%
5	福岡県志免町	4.3%

宿泊傾向把握								
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか								
旅程	エリア順位	宿泊地（人泊数にて算出）						
		域内宿泊		域外宿泊				
日帰り率	6.5%	1位	域内宿泊率	33.0%	5位	域外宿泊率	67.0%	6位
1泊率	13.7%	3位	域内宿泊率	33.0%	5位	域外宿泊率	67.0%	6位
2泊以上率	79.7%	10位	域内宿泊率	33.0%	5位	域外宿泊率	67.0%	6位
平均泊数	3.08	6位	域内宿泊率	33.0%	5位	域外宿泊率	67.0%	6位

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
滞在滞在時間		観光エリア周遊		
全体	2:41	平均周遊箇所数	1.76	4位
エリア順位	2位	2箇所以上来訪率	50.8%	7位
日帰り	1:56	1箇所のみ来訪率	49.2%	4位
エリア順位	3位	周遊観光エリア	来訪率	
宿泊	2:42	1 中の町	23.1%	
エリア順位	2位	2 北谷アメリカンビレッジ	15.3%	
		3 沖縄イオンモールライカム	14.4%	
		4 一番街	****	
		5 グランメールリゾート	****	

「沖縄こどもの国」 サマリー

「沖縄こどもの国」来訪者は91人。来訪者の属性は女性が56.9%、年齢層別では30～39歳が28.6%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が17.1%を占め、市区町村別では東京都目黒区、神奈川県横浜市港北区、長崎県大村市が多い。旅程は2泊以上が多く95.8%で、観光エリア内第1位。平均泊数は3.23日。域内（＝沖縄市内）泊率は13.1%で観光エリア内第9位。約87%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.82箇所、観光エリア内第3位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:02で観光エリア内第4位。

来訪者		
91人	エリア順位	9位

属性把握		
誰がどこから来訪しているのか		
属性		
男性	20～29歳	43.1%
	30～39歳	12.8%
	40～49歳	12.0%
	50歳以上	12.3%
女性	20～29歳	56.9%
	30～39歳	28.6%
	40～49歳	16.6%
	50歳以上	11.7%

発地		
順位	都道府県名	構成比
1	東京都	17.1%
2	愛知県	12.0%
3	千葉県	10.1%
4	兵庫県	9.3%
5	神奈川県	7.0%

発地		
順位	市区町村名	構成比
1	東京都目黒区	****
2	神奈川県横浜市港北区	****
3	長崎県大村市	****
4	京都府八幡市	****
5	愛知県名古屋市中区	****

宿泊傾向把握								
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか								
旅程	エリア順位	宿泊地（人泊数にて算出）						
		域内宿泊		域外宿泊				
日帰り率	-	8位	域内宿泊率	13.1%	9位	域外宿泊率	86.9%	2位
1泊率	4.2%	10位	域内宿泊率	13.1%	9位	域外宿泊率	86.9%	2位
2泊以上率	95.8%	1位	域内宿泊率	13.1%	9位	域外宿泊率	86.9%	2位
平均泊数	3.23	2位	域内宿泊率	13.1%	9位	域外宿泊率	86.9%	2位

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
滞在滞在時間		観光エリア周遊		
全体	2:02	平均周遊箇所数	1.82	3位
エリア順位	4位	2箇所以上来訪率	54.8%	3位
日帰り	****	1箇所のみ来訪率	45.2%	8位
エリア順位	****	周遊観光エリア	来訪率	
宿泊	2:02	1 北谷アメリカンビレッジ	31.3%	
エリア順位	4位	2 沖縄イオンモールライカム	17.6%	
		3 中の町	11.6%	
		4 グランメールリゾート	****	
		5 プラザハウス	****	

「東南植物楽園」 サマリー

「東南植物楽園」来訪者は120人。来訪者の属性は男性が64.8%を占める。
 発地都道府県をみると、東京都発地者が16.4%を占め、市区町村別では東京都大田区、兵庫県西宮市、兵庫県神戸市西区が多い。
 旅程は2泊以上が多く94.1%で、観光エリア内第4位。平均泊数は3.07日。
 域内（＝沖縄市内）泊率は9.7%で観光エリア内第10位。約90%が域外へ宿泊流出している。
 平均周遊箇所数は1.57箇所、観光エリア内第10位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:33で観光エリア内第8位。

来訪者		
120人	エリア順位	6位
属性把握		
誰がどこから来訪しているのか		
属性		
男性	20～29歳	64.8%
	30～39歳	21.2%
	40～49歳	13.7%
	50歳以上	23.2%
		35.2%
女性	20～29歳	****
	30～39歳	****
	40～49歳	****
	50歳以上	****

発地		
発地 都道府県	順位	都道府県名
	1	東京都
	2	愛知県
	3	兵庫県
	4	福岡県
発地 市区町村	順位	市区町村名
	1	東京都大田区
	2	兵庫県西宮市
	3	兵庫県神戸市西区
	4	大阪府大分市

宿泊傾向把握					
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか					
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）			
日帰り率	****	エリア順位	域内宿泊		域外宿泊
1泊率	5.0%	エリア順位	域内宿泊率	エリア順位	域外宿泊率
		4位	9.7%	10位	90.3%
2泊以上率	94.1%	エリア順位	9.7%		
		9位	10位		
平均泊数	3.07	エリア順位	9.7%		
		4位	10位		

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	1:33	周遊指標	エリア順位	
エリア順位	8位	平均周遊箇所数	1.57	10位
日帰り	1:01	2箇所以上来訪率	42.1%	10位
エリア順位	6位	1箇所のみ来訪率	57.9%	1位
宿泊	1:34	周遊観光エリア	来訪率	
エリア順位	8位	1 北谷アメリカンビレッジ	26.6%	
		2 沖縄イオンモールライカム	15.1%	
		3 グランメールリゾート	****	
		4 中の町	****	
		5 一番街	****	

「プラザハウス」 サマリー

「プラザハウス」来訪者は111人。来訪者の属性は男性が60.4%、年齢層別では40～49歳が30.6%を占める。
 発地都道府県をみると、東京都発地者が23.4%を占め、市区町村別では東京都練馬区、福岡県福岡市博多区、福岡県福岡市南区が多い。
 旅程は2泊以上が多く94.6%で、観光エリア内第3位。平均泊数は3.21日。
 域内（＝沖縄市内）泊率は29.7%で観光エリア内第6位。約70%が域外へ宿泊流出している。
 平均周遊箇所数は2.06箇所、観光エリア内第1位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は0:50で観光エリア内第10位。

来訪者		
111人	エリア順位	7位
属性把握		
誰がどこから来訪しているのか		
属性		
男性	20～29歳	60.4%
	30～39歳	21.8%
	40～49歳	14.2%
	50歳以上	17.5%
		39.6%
女性	20～29歳	****
	30～39歳	****
	40～49歳	16.4%
	50歳以上	****

発地		
発地 都道府県	順位	都道府県名
	1	東京都
	2	福岡県
	3	大阪府
	4	神奈川県
発地 市区町村	順位	市区町村名
	1	東京都練馬区
	2	福岡県福岡市博多区
	3	福岡県福岡市南区
	4	東京都江戸川区

宿泊傾向把握					
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか					
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）			
日帰り率	-	エリア順位	域内宿泊		域外宿泊
1泊率	5.4%	エリア順位	域内宿泊率	エリア順位	域外宿泊率
		8位	29.7%	6位	70.3%
2泊以上率	94.6%	エリア順位	29.7%		
		7位	6位		
平均泊数	3.21	エリア順位	29.7%		
		3位	6位		

滞在・周遊傾向把握				
どこに滞在し、どこを周遊しているのか				
昼間滞在時間		観光エリア周遊		
全体	0:50	周遊指標	エリア順位	
エリア順位	10位	平均周遊箇所数	2.06	1位
日帰り	****	2箇所以上来訪率	61.4%	2位
エリア順位	****	1箇所のみ来訪率	38.6%	9位
宿泊	0:50	周遊観光エリア	来訪率	
エリア順位	10位	1 北谷アメリカンビレッジ	31.6%	
		2 沖縄イオンモールライカム	29.5%	
		3 中の町	17.8%	
		4 一番街	****	
		5 グランメールリゾート	****	

「一番街」 サマリー

「一番街」来訪者は341人。来訪者の属性は男性が68.7%、年齢層別では50歳以上が38.1%を占める。
 発地都道府県をみると、東京都発地者が26.1%を占め、市区町村別では東京都世田谷区、東京都練馬区、東京都大田区が多い。
 旅程は2泊以上が多く93.7%で、観光エリア内第5位。平均泊数は3.09日。
 域内（＝沖縄市内）泊率は43.2%で観光エリア内第3位。約57%が域外へ宿泊流出している。
 平均周遊箇所数は1.93箇所、観光エリア内第2位。「中の町」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:31で観光エリア内第9位。

来訪者			
341人	エリア順位	4位	
属性把握			
誰が どこから来訪しているのか			
属性			
男性	20～29歳	68.7%	
	30～39歳	4.5%	
	40～49歳	13.5%	
	50歳以上	21.2%	
		29.6%	
女性	20～29歳	31.3%	
	30～39歳	5.3%	
	40～49歳	5.6%	
	50歳以上	11.8%	
		8.6%	
発地			
発地 都道府県	順位	都道府県名	構成比
	1	東京都	26.1%
	2	神奈川県	11.9%
	3	大阪府	9.9%
	4	福岡県	8.4%
5	愛知県	7.3%	
発地 市区町村	順位	市区町村名	構成比
	1	東京都世田谷区	3.8%
	2	東京都練馬区	3.4%
	3	東京都大田区	2.6%
	4	大阪府大阪市城東区	2.0%
5	鹿児島県鹿児島市	1.9%	

宿泊傾向把握					
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか					
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）			
日帰り率	****	域内宿泊		域外宿泊	
		域内宿泊率	エリア順位	域外宿泊率	エリア順位
1泊率	5.6%	43.2%	3位	56.8%	8位
2泊以上率	93.7%				
平均泊数	3.09				

滞在・周遊傾向把握					
どこに滞在し、どこを周遊しているのか					
昼間滞在時間		観光エリア周遊			
全体	1:31	周遊指標		エリア順位	
		平均周遊箇所数	1.93	2位	
エリア順位	9位				
日帰り	1:28	2箇所以上来訪率	64.0%	1位	
エリア順位	4位				
宿泊	1:31	1箇所のみ来訪率	36.0%	10位	
エリア順位	9位	順位	周遊観光エリア		
		1	中の町	40.4%	
		2	北谷アメリカンビレッジ	24.4%	
		3	沖縄イオンモールライカム	16.8%	
		4	プラザハウス	****	
		5	コザ運動公園	****	

「中の町」 サマリー

「中の町」来訪者は608人。来訪者の属性は男性が68.9%、年齢層別では50歳以上が33.2%を占める。
 発地都道府県をみると、福岡県発地者が18.7%を占め、市区町村別では福岡県福岡市博多区、福岡県福岡市中央区、長崎県佐世保市が多い。
 旅程は2泊以上が多く84.4%で、観光エリア内第9位。平均泊数は2.87日。
 域内（＝沖縄市内）泊率は57.1%で観光エリア内第2位。約43%が域外へ宿泊流出している。
 平均周遊箇所数は1.64箇所、観光エリア内第8位。「一番街」との周遊が最も多い。平均滞在時間は2:24で観光エリア内第3位。

来訪者			
608人	エリア順位	3位	
属性把握			
誰が どこから来訪しているのか			
属性			
男性	20～29歳	68.9%	
	30～39歳	6.8%	
	40～49歳	13.1%	
	50歳以上	24.6%	
		24.4%	
女性	20～29歳	31.1%	
	30～39歳	8.9%	
	40～49歳	5.0%	
	50歳以上	8.4%	
		8.8%	
発地			
発地 都道府県	順位	都道府県名	構成比
	1	福岡県	18.7%
	2	東京都	13.7%
	3	神奈川県	9.7%
	4	大阪府	9.6%
5	埼玉県	7.3%	
発地 市区町村	順位	市区町村名	構成比
	1	福岡県福岡市博多区	5.8%
	2	福岡県福岡市中央区	2.3%
	3	長崎県佐世保市	2.1%
	4	埼玉県蓮田市	1.5%
5	東京都練馬区	1.5%	

宿泊傾向把握					
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか					
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）			
日帰り率	0.9%	域内宿泊		域外宿泊	
		域内宿泊率	エリア順位	域外宿泊率	エリア順位
1泊率	14.7%	57.1%	2位	42.9%	9位
2泊以上率	84.4%				
平均泊数	2.87				

滞在・周遊傾向把握					
どこに滞在し、どこを周遊しているのか					
昼間滞在時間		観光エリア周遊			
全体	2:24	周遊指標		エリア順位	
		平均周遊箇所数	1.64	8位	
エリア順位	3位				
日帰り	2:53	2箇所以上来訪率	46.0%	8位	
エリア順位	1位				
宿泊	2:23	1箇所のみ来訪率	54.0%	3位	
エリア順位	3位	順位	周遊観光エリア		
		1	一番街	22.7%	
		2	北谷アメリカンビレッジ	14.9%	
		3	沖縄イオンモールライカム	13.5%	
		4	コザ運動公園	3.5%	
		5	プラザハウス	3.3%	

「グランメールリゾート」 サマリー

「グランメールリゾート」来訪者は231人。来訪者の属性は男性が61.9%、年齢層別では50歳以上が36%を占める。発地都道府県をみると、大阪府発地者が14.6%を占め、市区町村別では福岡県福岡市博多区、東京都品川区、福岡県福岡市東区が多い。旅程は2泊以上が多く85.4%で、観光エリア内第8位。平均泊数は2.71日。域内（＝沖縄市内）泊率は67.7%で観光エリア内第1位。約32%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.74箇所、観光エリア内第5位。「沖縄イオンモールライカム」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:57で観光エリア内第5位。

来訪者			
231人	エリア順位	5位	
属性把握			
誰がどこから来訪しているのか			
属性			
男性	20～29歳	51.9%	
	30～39歳	11.7%	
	40～49歳	6.6%	
	40～49歳	17.2%	
	50歳以上	26.4%	
女性	20～29歳	38.1%	
	30～39歳	6.2%	
	40～49歳	13.2%	
	40～49歳	9.1%	
	50歳以上	9.6%	
発地			
発地 都道府県	順位	都道府県名	構成比
	1	大阪府	14.6%
	2	東京都	13.8%
	3	福岡県	10.6%
	4	千葉県	10.1%
5	愛知県	9.3%	
発地 市区町村	順位	市区町村名	構成比
	1	福岡県福岡市博多区	2.2%
	2	東京都品川区	1.8%
	3	福岡県福岡市東区	1.8%
	4	大阪府茨木市	1.7%
5	香川県高松市	1.5%	

宿泊傾向把握					
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか					
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）			
日帰り率	****	域内宿泊		域外宿泊	
1泊率	13.4%	エリア順位	域内宿泊率	エリア順位	域外宿泊率
		2位	67.7%	1位	32.3%
2泊以上率	85.4%	エリア順位			
		4位			
平均泊数	2.71	エリア順位			
		8位			
平均泊数	2.71	エリア順位			
		10位			

滞在・周遊傾向把握					
どこに滞在し、どこを周遊しているのか					
昼間滞在時間		観光エリア周遊			
全体	1:57	周遊指標		エリア順位	
エリア順位	5位	平均周遊箇所数	1.74		5位
		日帰り	2:02	2箇所以上来訪率	51.6%
エリア順位	2位	1箇所のみ来訪率			
		48.4%			
宿泊	1:57	周遊観光エリア			
		順位	来訪率		
エリア順位	5位	1	沖縄イオンモールライカム	30.2%	
		2	北谷アメリカンビレッジ	21.1%	
		3	県総合運動公園	6.1%	
		4	中の町	****	
		5	沖縄こどもの国	****	

「北谷アメリカンビレッジ」 サマリー

「北谷アメリカンビレッジ」来訪者は694人。来訪者の属性は男性が58%、年齢層別では40～49歳が31.8%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が18%を占め、市区町村別では福岡県福岡市博多区、東京都大田区、福岡県福岡市東区が多い。旅程は2泊以上が多く94.7%で、観光エリア内第2位。平均泊数は3.22日。域内（＝沖縄市内）泊率は18.4%で観光エリア内第8位。約82%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.71箇所、観光エリア内第7位。「沖縄イオンモールライカム」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:45で観光エリア内第6位。

来訪者			
694人	エリア順位	1位	
属性把握			
誰がどこから来訪しているのか			
属性			
男性	20～29歳	58.0%	
	30～39歳	13.4%	
	40～49歳	9.4%	
	40～49歳	18.1%	
	50歳以上	17.1%	
女性	20～29歳	42.0%	
	30～39歳	7.2%	
	40～49歳	12.6%	
	40～49歳	13.7%	
	50歳以上	8.6%	
発地			
発地 都道府県	順位	都道府県名	構成比
	1	東京都	18.0%
	2	大阪府	12.3%
	3	福岡県	10.9%
	4	神奈川県	9.6%
5	愛知県	8.9%	
発地 市区町村	順位	市区町村名	構成比
	1	福岡県福岡市博多区	2.3%
	2	東京都大田区	2.0%
	3	福岡県福岡市東区	1.5%
	4	東京都世田谷区	1.4%
5	東京都品川区	1.2%	

宿泊傾向把握					
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか					
旅程		宿泊地（人泊数にて算出）			
日帰り率	****	域内宿泊		域外宿泊	
1泊率	5.2%	エリア順位	域内宿泊率	エリア順位	域外宿泊率
		7位	18.4%	8位	81.6%
2泊以上率	94.7%	エリア順位			
		8位			
平均泊数	3.22	エリア順位			
		2位			
平均泊数	3.22	エリア順位			
		3位			

滞在・周遊傾向把握					
どこに滞在し、どこを周遊しているのか					
昼間滞在時間		観光エリア周遊			
全体	1:45	周遊指標		エリア順位	
エリア順位	6位	平均周遊箇所数	1.71		7位
		日帰り	0:41	2箇所以上来訪率	50.8%
エリア順位	7位	1箇所のみ来訪率			
		49.2%			
宿泊	1:45	周遊観光エリア			
		順位	来訪率		
エリア順位	6位	1	沖縄イオンモールライカム	22.7%	
		2	中の町	13.0%	
		3	一番街	12.0%	
		4	グランメールリゾート	7.0%	
		5	プラザハウス	5.1%	

「イオンモール沖縄ライカム」 サマリー

「沖縄イオンモールライカム」来訪者は631人。来訪者の属性は男性が54%、年齢層別では50歳以上が33.5%を占める。発地都道府県をみると、東京都発地者が15.8%を占め、市区町村別では福岡県福岡市博多区、東京都品川区、東京都大田区が多い。旅程は2泊以上が多く93.6%で、観光エリア内第6位。平均泊数は3.28日。域内（＝沖縄市内）泊率は35.2%で観光エリア内第4位。約65%が域外へ宿泊流出している。平均周遊箇所数は1.73箇所、観光エリア内第6位。「北谷アメリカンビレッジ」との周遊が最も多い。平均滞在時間は1:40で観光エリア内第7位。

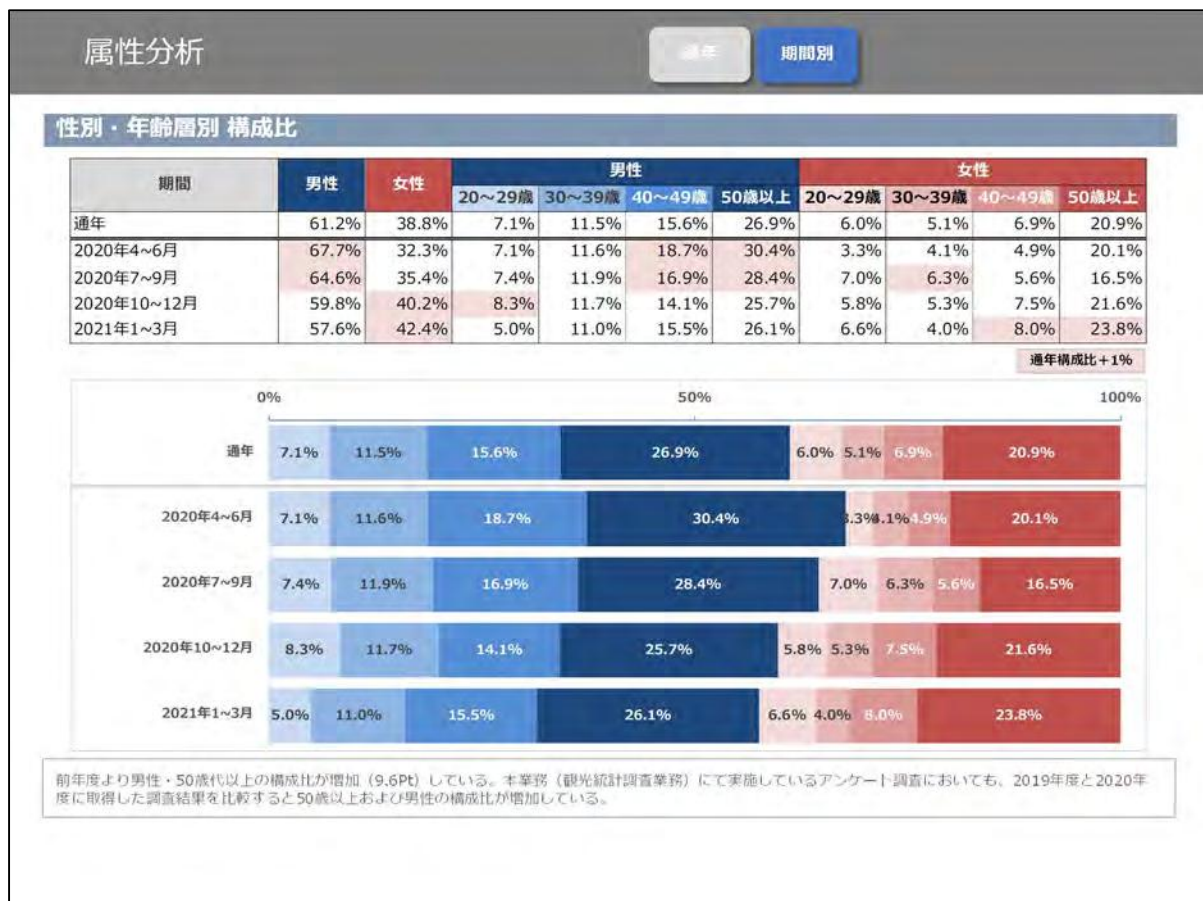
来訪者		
631人	エリア順位	2位

属性把握			
属性			
男性	20～29歳	54.0%	
	30～39歳	6.4%	
	40～49歳	12.6%	
	40～49歳	16.8%	
	50歳以上	18.2%	
女性	20～29歳	46.0%	
	30～39歳	11.9%	
	40～49歳	10.0%	
	40～49歳	8.8%	
	50歳以上	15.3%	
発地			
発地 都道府県	順位	都道府県名	構成比
	1	東京都	15.8%
	2	福岡県	12.6%
	3	大阪府	10.9%
	4	神奈川県	8.1%
5	愛知県	7.7%	
発地 市区町村	順位	市区町村名	構成比
	1	福岡県福岡市博多区	1.5%
	2	東京都品川区	1.4%
	3	東京都大田区	1.3%
	4	東京都杉並区	1.3%
5	福岡県福岡市南区	1.3%	

宿泊傾向把握						
宿泊しているのか、どこに宿泊しているのか						
日帰り率	****	旅程		宿泊地（入泊数にて算出）		
		エリア順位	域内宿泊	域外宿泊	エリア順位	エリア順位
1泊率	6.1%	6位	域内宿泊率	35.2%	域外宿泊率	64.8%
2泊以上率	93.6%	5位	エリア順位	4位	エリア順位	7位
平均泊数	3.28	6位	エリア順位			
		1位				

滞在・周遊傾向把握						
どこに滞在し、どこを周遊しているのか						
全体	1:40	滞在滞在時間		観光エリア周遊		
		エリア順位	周遊指標	平均周遊箇所数	1箇所のみ来訪率	エリア順位
日帰り	1:09	7位	周遊指標	1.73	2箇所以上来訪率	51.2%
エリア順位	5位		周遊指標	48.8%	1箇所のみ来訪率	48.8%
宿泊	1:40		周遊指標			
エリア順位	7位		周遊指標			
			周遊観光エリア			
			順位			来訪率
			1	北谷アメリカンビレッジ		25.0%
			2	中の町		13.0%
			3	グランメルリゾート		11.0%
			4	一番街		9.1%
			5	プラザハウス		5.2%

3) 基礎集計



発地分析

通年

期間別

発地地域別 来訪者数・構成比

順位	発地地域	通年		2020年4~6月		2020年7~9月		2020年10~12月		2021年1~3月		
		来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比
1	関東	1,640	38.4%	1	223	36.6%	1	411	39.3%	1	654	40.3%
2	九州	1,111	26.0%	2	169	27.8%	2	267	25.6%	2	416	25.6%
3	近畿	779	18.2%	3	101	16.7%	3	205	19.6%	3	286	17.7%
4	中部	438	10.2%	4	57	9.4%	4	101	9.7%	4	177	10.9%
5	中国	151	3.5%	5	31	5.1%	5	30	2.9%	5	42	2.6%
-	その他	154	3.6%	-	27	4.4%	-	31	2.9%	-	47	2.9%
-	計	4,273	-	-	609	-	-	1,045	-	-	1,622	-

発地都道府県別 来訪者数・構成比

順位	発地都道府県	通年		2020年4~6月		2020年7~9月		2020年10~12月		2021年1~3月		
		来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比
1	福岡県	773	18.1%	1	112	18.3%	1	185	17.8%	2	293	18.1%
2	東京都	705	16.5%	2	80	13.1%	2	169	16.1%	1	294	18.1%
3	大阪府	392	9.2%	4	46	7.6%	3	116	11.1%	4	138	8.5%
4	神奈川県	385	9.0%	3	56	9.2%	4	104	10.0%	3	146	9.0%
5	愛知県	275	6.4%	8	31	5.1%	5	72	6.9%	5	110	6.8%
6	埼玉県	231	5.4%	7	35	5.7%	6	63	6.0%	6	91	5.6%
7	千葉県	227	5.3%	5	38	6.3%	7	52	5.0%	7	88	5.4%
8	兵庫県	213	5.0%	6	35	5.8%	8	46	4.4%	8	84	5.2%
9	京都府	90	2.1%	15	10	1.6%	10	24	2.3%	9	32	2.0%
10	広島県	84	2.0%	9	17	2.8%	13	14	1.3%	12	24	1.5%
-	その他	895	21.0%	-	149	24.5%	-	198	18.9%	-	322	19.8%
-	計	4,273	-	-	609	-	-	1,045	-	-	1,622	-

通年構成比+1%

沖縄市来訪者の発地地域は関東が約4割、ついで九州。近畿発地者が多い。期間別で見ると「2020年4~6月」は九州と中国発地者、「2020年7~9月」は近畿発地者、「2020年10~12月」は関東発地者、「2020年1~3月」の中国発地者が増加傾向。昨年度実施の2019年度では、東京都が最も多い。都道府県別では福岡県、東京都、大阪府が多い。期間別では「2020年7~9月」は大阪府、「2020年10~12月」は東京都発地者が多い傾向。上記のように2020年度の市内来訪者（県外客）については、福岡県が一位であるが「令和2年度版観光要覧」（沖縄県観光政策課）より、県主体としてみると2020年度と2019年度の福岡県の割合は同程度である。（なお、東京都は2020年度は3.1pt増加している。）

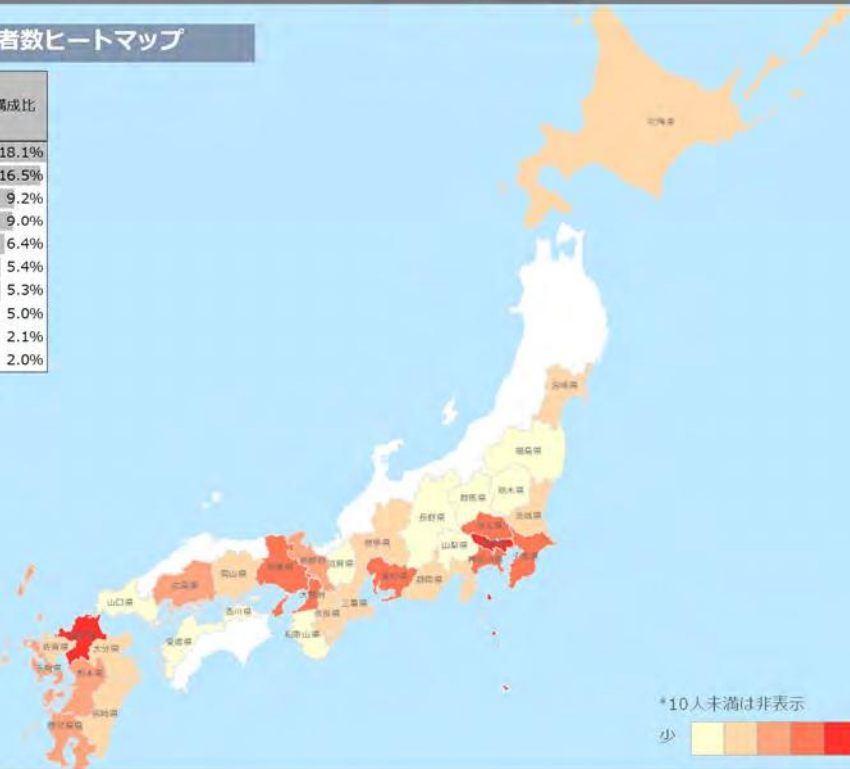
発地分析

通年

期間別

発地都道府県別 来訪者数ヒートマップ

順位	発地都道府県	通年	
		来訪者数	構成比
1	福岡県	773	18.1%
2	東京都	705	16.5%
3	大阪府	392	9.2%
4	神奈川県	385	9.0%
5	愛知県	275	6.4%
6	埼玉県	231	5.4%
7	千葉県	227	5.3%
8	兵庫県	213	5.0%
9	京都府	90	2.1%
10	広島県	84	2.0%



*10人未満は非表示

少 多

発地分析

通年

期間別

発地市区町村別 来訪者数・構成比

順位	発地 市区町村	都道府県	通年		2020年4~6月		2020年7~9月		2020年10~12月		2021年1~3月					
			来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比	順位	来訪者数	構成比			
1	福岡市博多区	福岡県	122	2.9%	1	26	4.3%	1	31	3.0%	1	38	2.3%	1	26	2.6%
2	福岡市東区	福岡県	77	1.8%	2	11	1.9%	4	15	1.5%	2	30	1.9%	2	20	2.0%
3	福岡市中央区	福岡県	70	1.6%	8	8	1.4%	2	20	1.9%	6	23	1.4%	4	18	1.8%
4	練馬区	東京都	69	1.6%	3	11	1.8%	3	16	1.6%	7	22	1.4%	3	20	2.0%
5	世田谷区	東京都	60	1.4%	15	6	1.0%	7	12	1.2%	3	24	1.5%	5	17	1.7%
6	福岡市早良区	福岡県	60	1.4%	13	6	1.0%	5	14	1.4%	5	23	1.4%	6	16	1.6%
7	福岡市南区	福岡県	55	1.3%	4	10	1.7%	8	12	1.2%	4	23	1.4%	14	9	0.9%
8	福岡市西区	福岡県	50	1.2%	5	9	1.5%	11	10	1.0%	10	18	1.1%	8	12	1.2%
9	新宿区	東京都	43	1.0%	11	7	1.1%	13	10	0.9%	16	13	0.8%	7	14	1.4%
10	大田区	東京都	43	1.0%	19	5	0.8%	16	9	0.9%	8	21	1.3%	16	8	0.8%
11	福岡市城南区	福岡県	41	0.9%	27	4	0.7%	6	13	1.3%	11	16	1.0%	22	7	0.7%
12	横浜市港北区	神奈川県	36	0.8%	6	9	1.5%	9	11	1.1%	31	9	0.5%	24	7	0.7%
13	品川区	東京都	35	0.8%	47	3	0.5%	60	4	0.4%	9	19	1.2%	12	9	0.9%
14	佐世保市	長崎県	34	0.8%	10	7	1.1%	253****	****	****	12	16	1.0%	11	10	1.0%
15	鹿児島市	鹿児島県	34	0.8%	7	9	1.4%	30	6	0.6%	20	13	0.8%	30	6	0.6%
16	杉並区	東京都	31	0.7%	14	6	1.0%	58	4	0.4%	15	13	0.8%	17	8	0.8%
17	江戸川区	東京都	30	0.7%	28	4	0.7%	93	3	0.3%	25	11	0.7%	9	12	1.2%
18	江東区	東京都	29	0.7%	124****	****	****	26	7	0.6%	14	14	0.9%	28	7	0.7%
19	西宮市	兵庫県	27	0.6%	20	5	0.8%	76	4	0.4%	22	11	0.7%	19	8	0.8%
20	筑紫野市	福岡県	26	0.6%	17	5	0.9%	39	5	0.5%	23	11	0.7%	42	5	0.5%
-	その他		3,302	77.3%	-	454	74.7%	-	835	80.0%	-	1,254	77.3%	-	758	75.9%
-	計		4,273	-	-	609	-	-	1,045	-	-	1,622	-	-	998	-

通年構成比+1%

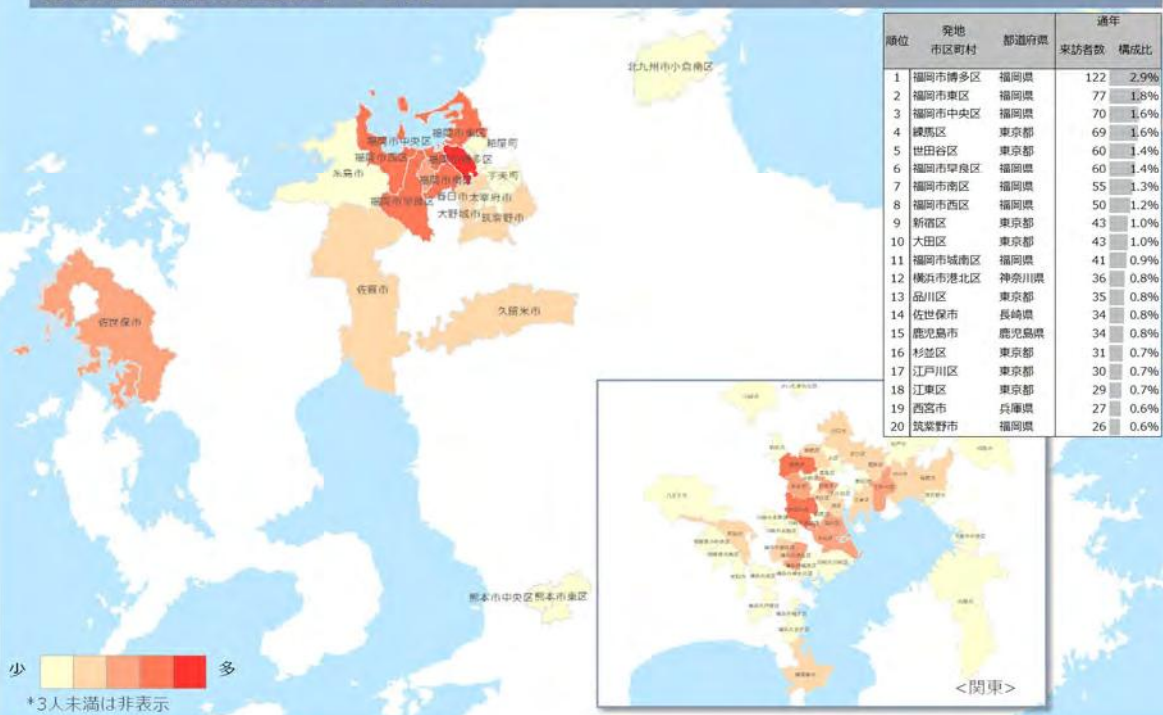
沖縄県来訪者の発地市区町村の上位3市は福岡市が占める。ついで練馬区、世田谷区が多い。期間別では「2020年4~6月」は福岡市博多区発地者が増加傾向

発地分析

通年

期間別

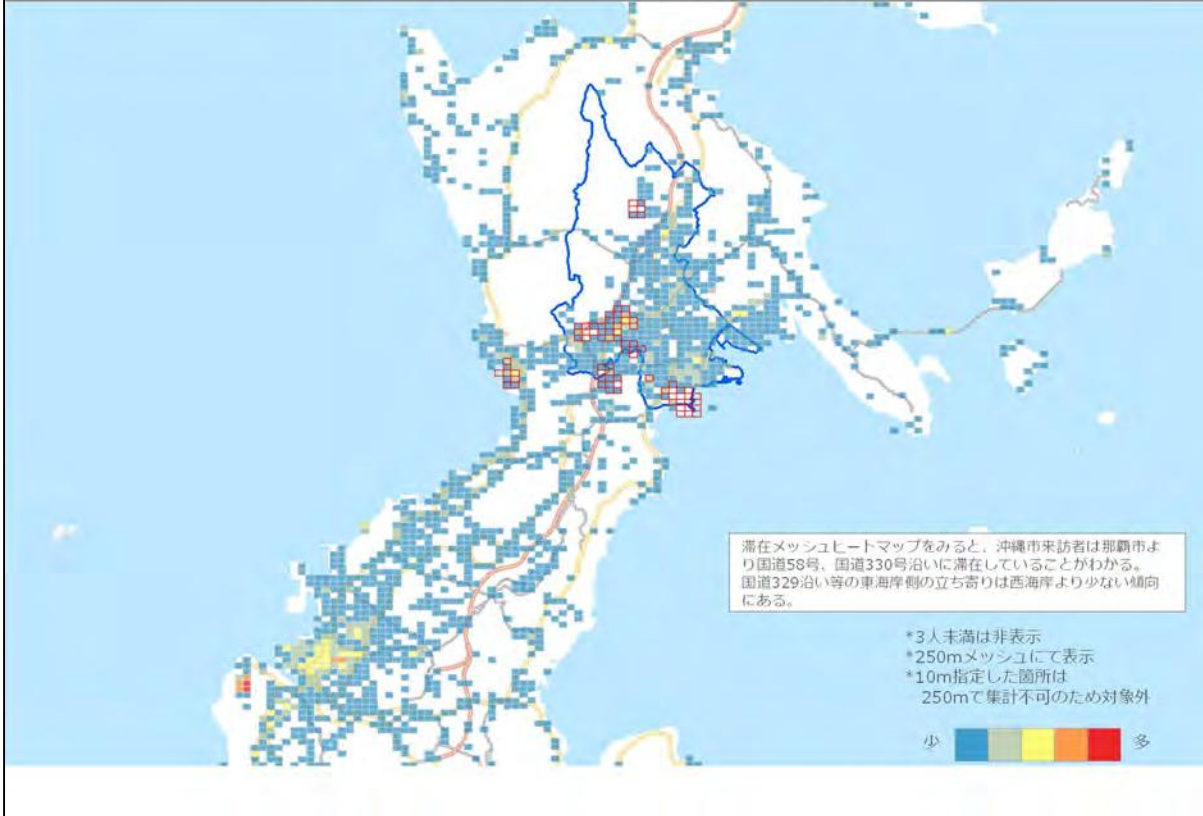
発地市区町村別 来訪者数ヒートマップ



滞在メッシュヒートマップ

通年

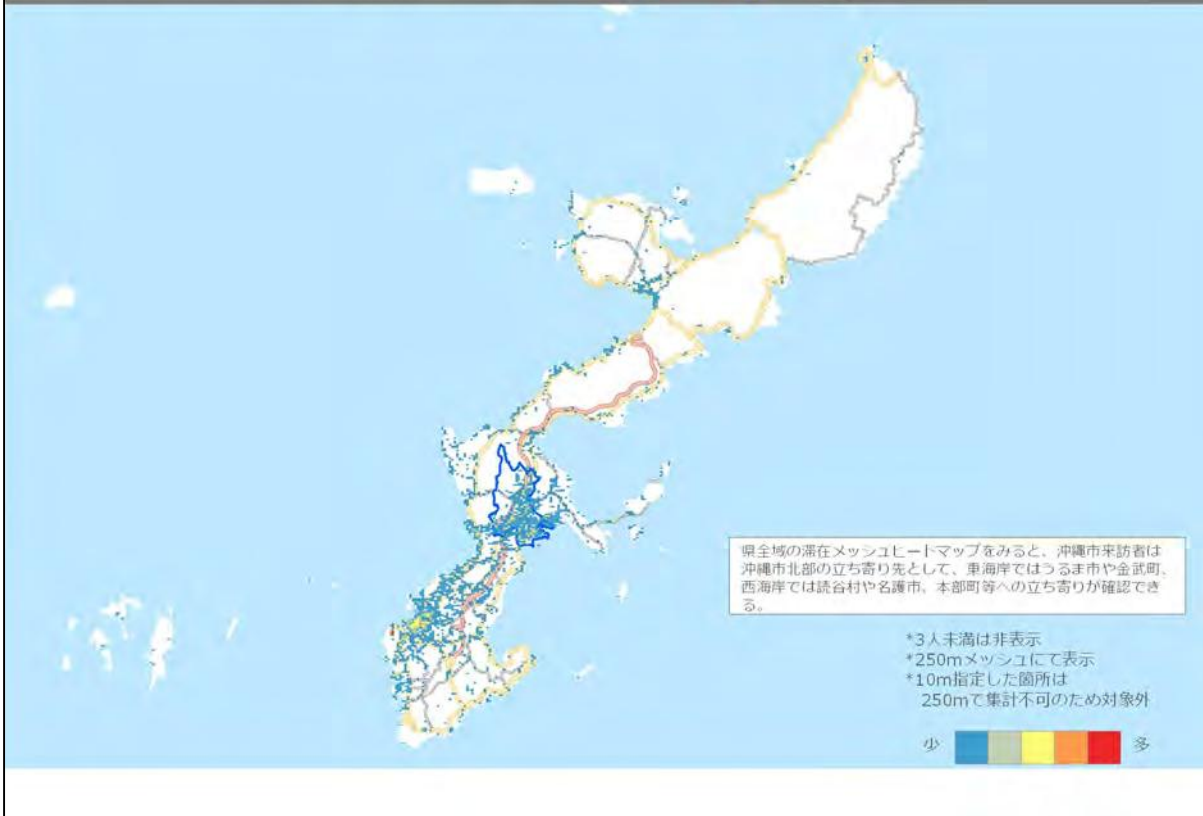
編制別



滞在メッシュヒートマップ -広域-

通年

編制別



立寄り分析

通年

期間別

市区町村別 立寄り者数・立寄り率

順位	立寄市区町村名	都道府県名	通年															
			立寄者数		立寄率		2020年4~6月		2020年7~9月		2020年10~12月		2021年1~3月					
			立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率	順位	立寄者数	立寄率		
1	那覇市	沖縄県	3,788	88.7%	1	523	85.9%	1	927	88.8%	1	1,472	90.7%	1	866	86.8%		
2	北谷町	沖縄県	1,309	30.6%	2	183	30.1%	2	346	33.1%	2	532	32.8%	3	249	25.0%		
3	うるま市	沖縄県	1,222	28.6%	3	177	29.1%	3	339	32.4%	3	451	27.8%	2	256	25.6%		
4	大田区	東京都	1,039	24.3%	4	138	22.7%	4	273	26.1%	4	415	25.6%	5	213	21.3%		
5	北中城村	沖縄県	993	23.2%	5	133	21.9%	5	248	23.7%	5	367	22.6%	4	245	24.5%		
6	豊見城市	沖縄県	761	17.8%	7	104	17.2%	7	203	19.5%	7	296	18.2%	7	157	15.8%		
7	浦添市	沖縄県	728	17.0%	8	88	14.5%	6	213	20.4%	10	267	16.5%	6	160	16.0%		
8	福岡市博多区	福岡県	692	16.2%	6	105	17.3%	11	166	15.8%	9	273	16.9%	8	148	14.8%		
9	恩納村	沖縄県	676	15.8%	11	69	11.3%	8	195	18.7%	6	302	18.6%	11	110	11.0%		
10	名護市	沖縄県	666	15.6%	10	70	11.5%	9	178	17.0%	8	293	18.1%	10	125	12.5%		
11	宜野湾市	沖縄県	626	14.7%	9	80	13.1%	10	178	17.0%	11	232	14.3%	9	136	13.7%		
12	本部町	沖縄県	470	11.0%	14	42	6.9%	12	117	11.2%	12	228	14.0%	13	83	8.3%		
13	糸満市	沖縄県	410	9.6%	13	48	7.8%	14	97	9.3%	15	177	10.9%	12	88	8.9%		
14	読谷村	沖縄県	404	9.5%	12	48	7.9%	13	109	10.5%	14	179	11.0%	15	69	6.9%		
15	南城市	沖縄県	381	8.9%	16	28	4.6%	15	85	8.1%	13	199	12.3%	14	69	6.9%		
16	常滑市	愛知県	250	5.8%	19	26	4.2%	16	65	6.2%	16	106	6.5%	17	54	5.4%		
17	西原町	沖縄県	203	4.7%	15	34	5.5%	21	44	4.2%	17	78	4.8%	19	48	4.8%		
18	豊中市	大阪府	196	4.6%	22	22	3.6%	18	51	4.9%	18	75	4.6%	18	49	4.9%		
19	神戸市中央区	兵庫県	190	4.4%	23	21	3.5%	19	49	4.7%	19	65	4.0%	16	54	5.5%		
20	嘉手納町	沖縄県	169	4.0%	20	23	3.7%	17	57	5.4%	23	57	3.5%	23	33	3.3%		
-	来訪者数計		4,273	-	-	609	-	-	1,045	-	-	1,622	-	-	998	-		
-	※参考値：那覇空港を除く那覇市		2,732	63.9%	-	363	59.7%	-	642	61.5%	-	1,095	67.5%	-	632	63.3%		

通年構成比+1%

沖縄県来訪者の立寄り市区町村は、那覇市について中頭郡北谷町、うるま市、北中城村が多い。
また、過年度（2019年度）では那覇市（97.5%）、恩納村（34.5%）、本部町（34.1%）、名護市（33.6%）。2019年度は東海岸圏域も多い。

期間別で見ると、「2020年7~9月」と「2020年10~12月」で他県への立ち寄りが増加

立寄り分析

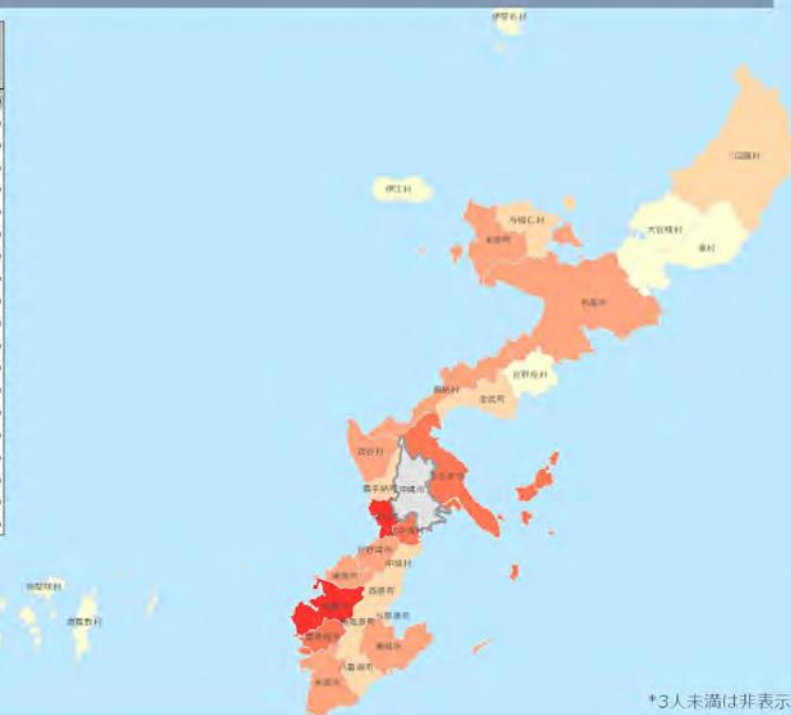
通年

期間別

市区町村別 立寄り数・立寄り率

順位	立寄市区町村名	都道府県名	通年	
			立寄者数	立寄率
1	那覇市	沖縄県	3,788	88.7%
2	北谷町	沖縄県	1,309	30.6%
3	うるま市	沖縄県	1,222	28.6%
4	大田区	東京都	1,039	24.3%
5	北中城村	沖縄県	993	23.2%
6	豊見城市	沖縄県	761	17.8%
7	浦添市	沖縄県	728	17.0%
8	福岡市博多区	福岡県	692	16.2%
9	恩納村	沖縄県	676	15.8%
10	名護市	沖縄県	666	15.6%
11	宜野湾市	沖縄県	626	14.7%
12	本部町	沖縄県	470	11.0%
13	糸満市	沖縄県	410	9.6%
14	読谷村	沖縄県	404	9.5%
15	南城市	沖縄県	381	8.9%
16	常滑市	愛知県	250	5.8%
17	西原町	沖縄県	203	4.7%
18	豊中市	大阪府	196	4.6%
19	神戸市中央区	兵庫県	190	4.4%
20	嘉手納町	沖縄県	169	4.0%

少 多



*3人未満は非表示

旅程分析

通年

期間別

旅程別 来訪者数・構成比

期間	来訪者数	日帰り	1泊	2泊以上
通年	4,273	130	601	3,542
2020年4~6月	609	29	110	470
2020年7~9月	1,045	33	126	886
2020年10~12月	1,622	37	216	1,370
2021年1~3月	998	32	148	817



宿泊場所区分別 宿泊人泊数・構成比

期間	人泊数	域内宿泊	域外宿泊
通年	11,671	3,001	8,670
2020年4~6月	1,538	455	1,083
2020年7~9月	3,065	822	2,243
2020年10~12月	4,431	980	3,451
2021年1~3月	2,637	743	1,894



沖縄県来訪者の8割以上が2泊以上の旅程で来訪している。宿泊場所は7割以上が域外（＝沖縄県外）へ流出している。
 「2020年4～6月」「2021年1～3月」は域内（＝沖縄県内）の宿泊が多い。
 2020年度は前年度の2019年度より1泊・日帰りが増加、2泊以上が9.1pt減少（92.0%＝82.9%）している。
 一方で、「令和2年度版観光要覧」（沖縄県観光政策課）より、県全体で2019年度と2020年度を比較すると、日帰りは同程度（0.5pt増）、1泊は減少（6.4pt減）、2泊以上は増加（5.9pt増）となっている。

宿泊地分析

通年

期間別

市区町村別 宿泊人泊数・構成比

順位	宿泊市区町村名	都道府県名	通年				2020年4~6月		2020年7~9月		2020年10~12月		2021年1~3月			
			宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比	順位	宿泊人泊数	構成比			
1	那覇市	沖縄県	4,000	34.3%	1	541	35.2%	1	949	31.0%	1	1,527	34.5%	1	982	37.3%
2	沖縄市	沖縄県	3,001	25.7%	2	455	29.6%	2	822	26.8%	2	980	22.1%	2	743	28.2%
3	北谷町	沖縄県	783	6.7%	3	88	5.7%	3	250	8.2%	4	313	7.1%	3	132	5.0%
4	恩納村	沖縄県	646	5.5%	5	51	3.3%	5	158	5.2%	3	333	7.5%	5	104	4.0%
5	うるま市	沖縄県	544	4.7%	4	65	4.2%	4	175	5.7%	5	193	4.4%	4	111	4.2%
6	北中城村	沖縄県	391	3.3%	6	42	2.7%	6	118	3.9%	7	141	3.2%	6	89	3.4%
7	名護市	沖縄県	320	2.7%	8	34	2.2%	8	71	2.3%	6	149	3.4%	7	66	2.5%
8	宜野湾市	沖縄県	298	2.6%	7	40	2.6%	7	76	2.5%	9	124	2.8%	8	58	2.2%
9	読谷村	沖縄県	244	2.1%	9	31	2.0%	9	52	1.7%	8	128	2.9%	9	33	1.3%
10	本部町	沖縄県	116	1.0%	16	6	0.4%	10	33	1.1%	10	53	1.2%	11	24	0.9%
11	糸満市	沖縄県	97	0.8%	11	12	0.8%	17	14	0.4%	11	41	0.9%	10	31	1.2%
12	浦添市	沖縄県	94	0.8%	10	21	1.4%	11	32	1.0%	12	30	0.7%	16	10	0.4%
13	宮古島市	沖縄県	66	0.6%	12	12	0.8%	12	18	0.6%	14	26	0.6%	18	10	0.4%
14	福岡市博多区	福岡県	57	0.5%	13	10	0.6%	21	10	0.3%	13	28	0.6%	15	11	0.4%
15	国頭村	沖縄県	54	0.5%	25	4	0.2%	15	15	0.5%	15	26	0.6%	17	10	0.4%
16	今帰仁村	沖縄県	47	0.4%	14	8	0.5%	20	10	0.3%	18	18	0.4%	14	11	0.4%
17	南城市	沖縄県	47	0.4%	36	****	****	19	11	0.4%	19	18	0.4%	12	16	0.6%
18	豊見城市	沖縄県	44	0.4%	19	5	0.3%	14	16	0.5%	21	15	0.3%	19	9	0.3%
19	与那原町	沖縄県	37	0.3%	79	****	****	18	12	0.4%	17	19	0.4%	28	5	0.2%
20	嘉手納町	沖縄県	36	0.3%	33	****	****	13	18	0.6%	24	8	0.2%	21	8	0.3%
-	その他		750	6.4%	-	108	7.0%	-	204	6.7%	-	263	5.9%	-	175	6.6%
-	宿泊人泊計		11,671	-	-	1,538	-	-	3,065	-	-	4,431	-	-	2,637	-

通年構成比+1%

沖縄県来訪者の宿泊地是那覇市、沖縄市、中頭郡北谷町の順に多い。
 期間別でみると「2020年4～6月」は沖縄市、「2020年7～9月」は沖縄市と中頭郡北谷町、「2020年10～12月」は恩納村、「2021年1～3月」是那覇市、沖縄市が増加傾向。
 前年度の2019年度是那覇市（29.7%）、沖縄市（15.7%）、恩納村（11.1%）、北谷町（5.3%）、うるま市（5.3%）となっており、上位市町村は概ね同じ。

宿泊地分析

通年

届別

市区町村別 宿泊人泊数・構成比

順位	宿泊市区町村名	都道府県名	通年	
			宿泊人泊数	構成比
1	那覇市	沖縄県	4,000	34.3%
2	沖縄市	沖縄県	3,001	25.7%
3	北谷町	沖縄県	783	6.7%
4	恩納村	沖縄県	646	5.5%
5	うるま市	沖縄県	544	4.7%
6	北中城村	沖縄県	391	3.3%
7	名護市	沖縄県	320	2.7%
8	宜野湾市	沖縄県	298	2.6%
9	読谷村	沖縄県	244	2.1%
10	本部町	沖縄県	116	1.0%
11	糸満市	沖縄県	97	0.8%
12	浦添市	沖縄県	94	0.8%
13	宮古島市	沖縄県	66	0.6%
14	福岡市博多区	福岡県	57	0.5%
15	国頭村	沖縄県	54	0.5%
16	今帰仁村	沖縄県	47	0.4%
17	南城市	沖縄県	47	0.4%
18	豊見城市	沖縄県	44	0.4%
19	与那原町	沖縄県	37	0.3%
20	嘉手納町	沖縄県	36	0.3%

*3人未満は非表示

少 多



発地都道府県別 域内泊数分解分析

通年

期間別

発地都道府県別 域内泊数分解分析

順位	発地都道府県	期間	来訪者数	宿泊者数		宿泊率	宿泊人泊数	平均泊数	域内泊数	域内宿泊率
				宿泊者数	宿泊率					
1	福岡県	通年	773	740	95.7%	1,762	2.28	358	20.3%	
		2020年4~6月	112	103	92.5%	255	2.28	57	22.5%	
		2020年7~9月	185	179	96.7%	442	2.38	89	20.1%	
		2020年10~12月	293	278	94.9%	630	2.15	117	18.6%	
		2021年1~3月	183	179	97.8%	436	2.38	94	21.6%	
2	東京都	通年	705	687	97.4%	1,999	2.83	519	26.0%	
		2020年4~6月	80	75	93.7%	210	2.64	63	30.0%	
		2020年7~9月	169	165	97.6%	521	3.09	122	23.4%	
		2020年10~12月	294	288	98.1%	818	2.78	188	23.0%	
		2021年1~3月	163	160	98.0%	449	2.75	146	32.5%	
3	大阪府	通年	392	384	98.0%	1,079	2.75	254	23.6%	
		2020年4~6月	46	46	100.0%	126	2.72	36	28.5%	
		2020年7~9月	116	114	98.3%	341	2.93	98	28.6%	
		2020年10~12月	138	137	99.3%	376	2.72	61	16.1%	
		2021年1~3月	91	86	94.6%	236	2.58	60	25.4%	
4	神奈川県	通年	385	380	98.5%	1,117	2.90	330	29.5%	
		2020年4~6月	56	54	95.7%	145	2.58	51	35.4%	
		2020年7~9月	104	103	98.5%	343	3.29	103	29.9%	
		2020年10~12月	146	146	99.5%	425	2.90	99	23.4%	
		2021年1~3月	79	78	99.0%	205	2.60	76	37.2%	
5	愛知県	通年	275	267	97.2%	761	2.77	183	24.0%	
		2020年4~6月	31	29	92.9%	72	2.32	21	29.2%	
		2020年7~9月	72	71	98.5%	228	3.16	69	30.2%	
		2020年10~12月	110	109	99.0%	301	2.74	57	19.0%	
		2021年1~3月	62	59	94.7%	161	2.60	36	22.3%	

来訪者数

福岡県、東京都、大阪府からの来訪者が多い。
いずれの都府県も「2020年10~12月」の来訪者が多い。

宿泊率

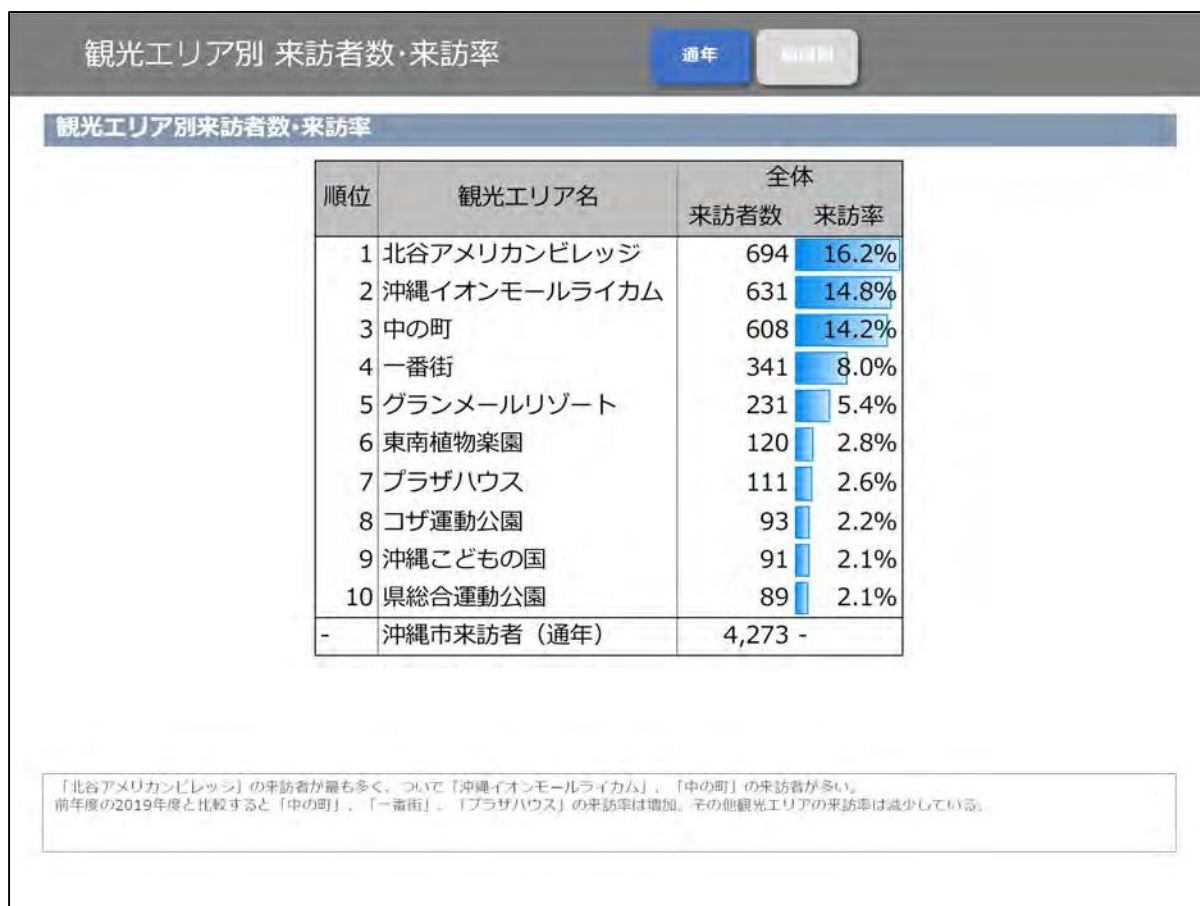
いずれの都府県発地者も宿泊旅程が9割以上

域内宿泊率

神奈川県発地者の域内泊率が最も高く29.5%、
ついで東京都発地者が26.0%と高い。

期間別で見ると、
福岡県発地者は「2020年4~6月」、
東京都、神奈川県発地者は「2021年1~3月」、
大阪府、愛知県発地者は「2020年7~9月」の
域内泊率が高くなる傾向

3) 観光エリア分析

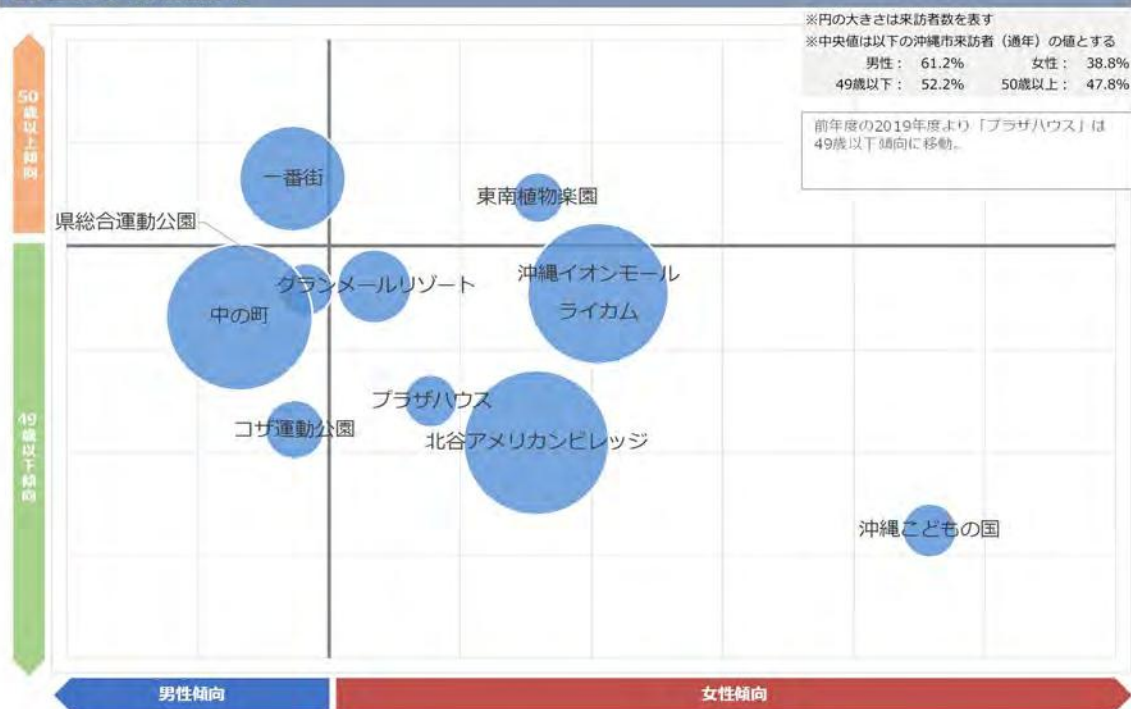


観光エリア別 属性分析

通年

属性別

観光エリア別 属性分布



観光エリア別 発地分析

通年

属性別

観光エリア別 発地地域別 来訪者数・構成比

■県総合運動公園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	37	41.4%
2	近畿	20	22.8%
3	九州	16	18.6%
4	中部	9	10.6%
5	中国	4	4.0%
-	その他	****	****
-	合計	89	100.0%

■コザ運動公園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	九州	39	41.9%
2	関東	24	25.3%
3	近畿	13	14.1%
4	中部	10	11.3%
5	中国	6	6.5%
-	その他	****	****
-	合計	93	100.0%

■沖繩こどもの国

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	37	40.3%
2	近畿	22	24.6%
3	中部	13	14.6%
4	九州	12	13.6%
5	北海道	****	****
-	その他	4	3.9%
-	合計	91	100.0%

■東南植物楽園

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	44	36.4%
2	近畿	26	21.8%
3	中部	21	17.6%
4	九州	18	15.1%
5	中国	5	4.4%
-	その他	6	4.8%
-	合計	120	100.0%

■ブラザハウス

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	48	43.3%
2	九州	24	21.8%
3	近畿	19	16.9%
4	中部	12	10.8%
5	中国	5	4.6%
-	その他	****	****
-	合計	111	100.0%

■一番街

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	175	51.3%
2	近畿	66	19.4%
3	九州	51	15.1%
4	中部	34	10.1%
5	中国	7	2.1%
-	その他	7	2.0%
-	合計	341	100.0%

「県総合運動公園」「沖繩こどもの国」「東南植物楽園」「ブラザハウス」「一番街」では関東発地者がもっとも多く、特に「一番街」は関東発地者が5割以上を占める。「コザ運動公園」は九州発地者が多い。

観光エリア別 発地分析

通年

前年度別

観光エリア別 発地地域別 来訪者数・構成比

■中の町

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	227	37.4%
2	九州	175	28.8%
3	近畿	120	19.7%
4	中部	37	6.1%
5	中国	26	4.3%
-	その他	22	3.7%
-	合計	608	100.0%

■グランメールリゾート

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	88	38.2%
2	近畿	48	21.0%
3	九州	37	16.0%
4	中部	36	15.5%
5	中国	10	4.2%
-	その他	12	5.2%
-	合計	231	100.0%

■北谷アメリカンビレッジ

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	279	40.2%
2	近畿	157	22.6%
3	九州	113	16.3%
4	中部	90	13.0%
5	中国	24	3.5%
-	その他	30	4.4%
-	合計	694	100.0%

■沖縄イオンモールライカム

順位	地域名	来訪者数	構成比
1	関東	229	36.3%
2	近畿	141	22.4%
3	九州	124	19.6%
4	中部	83	13.2%
5	中国	29	4.6%
-	その他	25	4.0%
-	合計	631	100.0%

上記4観光スポットはいずれもは関東発地者が多い。

観光エリア別 発地分析

通年

前年度別

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■県総合運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	14	15.6%
2	福岡県	8	9.2%
3	大阪府	8	9.0%
4	千葉県	6	6.5%
5	埼玉県	6	6.5%
-	その他	47	53.2%
-	合計	89	100.0%

■コザ運動公園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡県	32	34.9%
2	神奈川県	10	11.1%
3	大阪府	9	9.7%
4	東京都	8	8.8%
5	広島県	6	6.5%
-	その他	27	29.0%
-	合計	93	100.0%

■沖縄こどもの国

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	16	17.1%
2	愛知県	11	12.0%
3	千葉県	9	10.1%
4	兵庫県	8	9.3%
5	神奈川県	6	7.0%
-	その他	40	44.5%
-	合計	91	100.0%

■東南植物楽園

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	20	16.4%
2	愛知県	14	11.7%
3	兵庫県	13	11.0%
4	福岡県	12	10.1%
5	大阪府	11	9.1%
-	その他	50	41.7%
-	合計	120	100.0%

■プラザハウス

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	26	23.4%
2	福岡県	16	14.6%
3	大阪府	10	8.9%
4	神奈川県	10	8.6%
5	愛知県	8	6.8%
-	その他	42	37.6%
-	合計	111	100.0%

■一番街

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	89	26.1%
2	神奈川県	41	11.9%
3	大阪府	34	9.9%
4	福岡県	28	8.4%
5	愛知県	25	7.3%
-	その他	124	36.4%
-	合計	341	100.0%

「県総合運動公園」「沖縄こどもの国」「東南植物楽園」「プラザハウス」「一番街」では東京都発地者がもっと多い。
「コザ運動公園」は福岡県発地者が多い。
前年度の2019年度より各エリアにおいても福岡県の構成比が増加。

観光エリア別 発地分析

通年

前年度

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■中の町

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡県	114	18.7%
2	東京都	83	13.7%
3	神奈川県	59	9.7%
4	大阪府	59	9.6%
5	埼玉県	44	7.3%
-	その他	249	41.0%
-	合計	608	100.0%

■グランメーリゾート

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	大阪府	34	14.6%
2	東京都	32	13.8%
3	福岡県	24	10.6%
4	千葉県	23	10.1%
5	愛知県	22	9.3%
-	その他	96	41.6%
-	合計	231	100.0%

■北谷アメリカンビレッジ

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	125	18.0%
2	大阪府	85	12.3%
3	福岡県	76	10.9%
4	神奈川県	67	9.6%
5	愛知県	62	8.9%
-	その他	279	40.2%
-	合計	694	100.0%

■沖縄イオンモールライカム

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
1	東京都	100	15.8%
2	福岡県	79	12.6%
3	大阪府	69	10.9%
4	神奈川県	51	8.1%
5	愛知県	49	7.7%
-	その他	283	44.9%
-	合計	631	100.0%

「中の町」は福岡県発地者、「グランメーリゾート」は大阪府発地者、「北谷アメリカンビレッジ」「沖縄イオンモールライカム」は東京都発地者が最も多い。

観光エリア別 発地分析

通年

前年度

観光エリア別 発地市区町村別 来訪者数・構成比

■県総合運動公園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	松本市	長野県	****	****
2	高崎市	群馬県	****	****
3	横浜市保土ヶ谷区	神奈川県	****	****
4	京都市南区	京都府	****	****
5	福岡市博多区	福岡県	****	****
6	福岡市東区	福岡県	****	****
7	練馬区	東京都	****	****
8	立川市	東京都	****	****
9	江東区	東京都	****	****
10	渋谷区	東京都	****	****
-	その他		68	77.0%
-	合計		89	100.0%

■コザ運動公園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡市中央区	福岡県	8	8.7%
2	福岡市西区	福岡県	7	7.7%
3	福岡市南区	福岡県	4	4.3%
4	広島市南区	広島県	4	4.3%
5	志免町	福岡県	4	4.3%
6	横浜市港北区	神奈川県	3	3.4%
7	枚方市	大阪府	3	3.3%
8	春日市	福岡県	****	****
9	福岡市博多区	福岡県	****	****
10	福岡市東区	福岡県	****	****
-	その他		53	57.5%
-	合計		93	100.0%

■沖縄こどもの国

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	目黒区	東京都	****	****
2	横浜市港北区	神奈川県	****	****
3	大村市	長崎県	****	****
4	八幡市	京都府	****	****
5	名古屋市熱田区	愛知県	****	****
6	生駒市	奈良県	****	****
7	堺市	奈良県	****	****
8	伊丹市	兵庫県	****	****
9	神戸市中央区	兵庫県	****	****
10	尼崎市	兵庫県	****	****
-	その他		70	77.1%
-	合計		91	100.0%

■東南植物楽園

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	大田区	東京都	3	2.7%
2	西宮市	兵庫県	****	****
3	神戸市西区	兵庫県	****	****
4	大分市	大分県	****	****
5	四日市市	三重県	****	****
6	豊田市	愛知県	****	****
7	与論町	鹿児島県	****	****
8	福山市	広島県	****	****
9	福岡市城南区	福岡県	****	****
10	福岡市西区	福岡県	****	****
-	その他		96	79.7%
-	合計		120	100.0%

■ブラザハウス

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	練馬区	東京都	8	7.3%
2	福岡市博多区	福岡県	5	4.6%
3	福岡市南区	福岡県	4	3.6%
4	江戸川区	東京都	3	3.0%
5	横浜市都筑区	神奈川県	3	2.9%
6	川口市	埼玉県	****	****
7	大田区	東京都	****	****
8	杉並区	東京都	****	****
9	佐世保市	長崎県	****	****
10	名古屋市天白区	愛知県	****	****
-	その他		76	68.0%
-	合計		111	100.0%

■一番街

順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	世田谷区	東京都	13	3.8%
2	練馬区	東京都	11	3.4%
3	大田区	東京都	9	2.6%
4	大阪市城東区	大阪府	7	2.0%
5	鹿児島市	鹿児島県	6	1.9%
6	福岡市博多区	福岡県	6	1.8%
7	蓮田市	埼玉県	6	1.7%
8	川崎市多摩区	神奈川県	6	1.6%
9	品川区	東京都	5	1.4%
10	新宿区	東京都	5	1.4%
-	その他		267	78.2%
-	合計		341	100.0%

「コザ運動公園」は福岡県福岡市中央区、「東南植物楽園」は東京都大田区、「ブラザハウス」は東京都練馬区、「一番街」は東京都世田谷区発地者が最も多い。

観光エリア別 発地分析

通年

前年度

観光エリア別 発都市区町村別 来訪者数・構成比

■中の町					■グランメルリゾート					■北谷アメリカンビレッジ				
順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡市博多区	福岡県	35	5.8%	1	福岡市博多区	福岡県	5	2.2%	1	福岡市博多区	福岡県	16	2.3%
2	福岡市中央区	福岡県	14	2.3%	2	品川区	東京都	4	1.8%	2	大田区	東京都	14	2.0%
3	佐世保市	長崎県	13	2.1%	3	福岡市東区	福岡県	4	1.8%	3	福岡市東区	福岡県	10	1.5%
4	蓬田市	埼玉県	9	1.5%	4	茨木市	大阪府	4	1.7%	4	世田谷区	東京都	10	1.4%
5	練馬区	東京都	9	1.5%	5	高松市	香川県	3	1.5%	5	品川区	東京都	8	1.2%
6	さいたま市北区	埼玉県	8	1.4%	6	千代田区	東京都	3	1.4%	6	大分市	大分県	8	1.1%
7	福岡市東区	福岡県	8	1.3%	7	世田谷区	東京都	3	1.4%	7	葛飾区	東京都	7	1.1%
8	大分市	大分県	8	1.3%	8	名古屋市名東区	愛知県	3	1.4%	8	新宿区	東京都	7	1.1%
9	横須賀市	神奈川県	6	1.1%	9	川崎市多摩区	神奈川県	3	1.4%	9	福岡市南区	福岡県	7	1.0%
10	熊本市中央区	熊本県	6	1.0%	10	吹田市	大阪府	****	****	10	宝塚市	兵庫県	7	1.0%
-	その他		490	80.7%	-	その他		194	84.2%	-	その他		600	86.4%
-	合計		608	100.0%	-	合計		231	100.0%	-	合計		694	100.0%

■沖縄イオンモールライカム				
順位	市区町村名	都道府県名	来訪者数	構成比
1	福岡市博多区	福岡県	9	1.5%
2	品川区	東京都	9	1.4%
3	大田区	東京都	8	1.3%
4	杉並区	東京都	8	1.3%
5	福岡市南区	福岡県	8	1.3%
6	堺市	広島県	8	1.3%
7	福岡市早良区	福岡県	8	1.3%
8	神戸市垂水区	兵庫県	8	1.2%
9	新宿区	東京都	7	1.2%
10	佐世保市	長崎県	7	1.1%
-	その他		551	87.2%
-	合計		631	100.0%

上記4観光スポットいずれも福岡県福岡市博多区発地者が最も多い。

観光エリア別 周遊箇所数分析

通年

前年度

観光エリア別 平均周遊箇所数・1箇所のみ来訪率

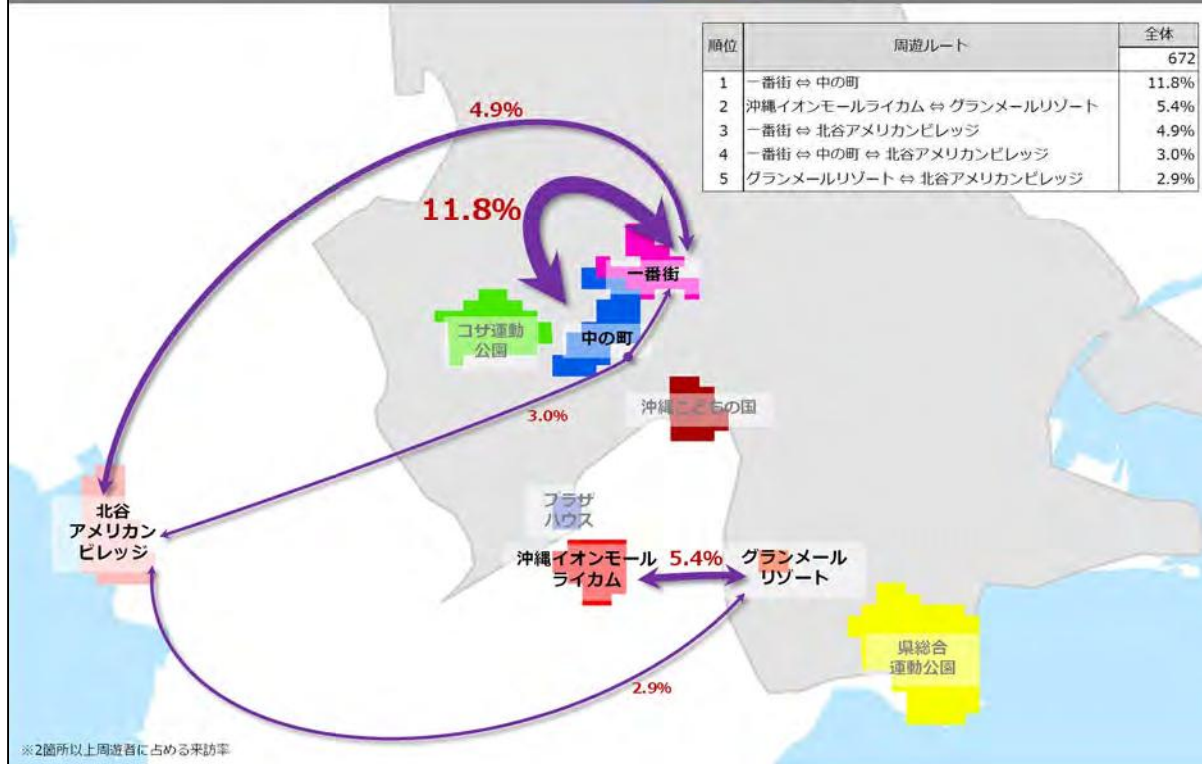


「串南植物楽園」「県総合運動公園」の順に1箇所のみ来訪率が多い。
「プラザハウス」は他観光エリアと比較して平均周遊箇所数が最も多い。
前年度の2019年度と比較すると、全てのエリアにおいて、1箇所のみ来訪率は一様に増加。

周遊ルートランキング

順位	周遊ルート	全体	構成比
		672	100.0%
1	一番街 ⇄ 中の町	79	11.8%
2	沖縄イオンモールライカム ⇄ グランメールリゾート	36	5.4%
3	一番街 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	33	4.9%
4	一番街 ⇄ 中の町 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	20	3.0%
5	グランメールリゾート ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	19	2.9%
6	沖縄こどもの国 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	16	2.4%
7	プラザハウス ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	13	1.9%
8	沖縄イオンモールライカム ⇄ グランメールリゾート ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	12	1.8%
9	コザ運動公園 ⇄ 中の町	9	1.3%
10	プラザハウス ⇄ 中の町	8	1.2%
11	コザ運動公園 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	7	1.0%
12	沖縄こどもの国 ⇄ 中の町	5	0.7%
13	沖縄イオンモールライカム ⇄ コザ運動公園	5	0.7%
14	コザ運動公園 ⇄ 一番街 ⇄ 中の町	4	0.7%
15	プラザハウス ⇄ 一番街 ⇄ 中の町	3	0.5%
16	沖縄こどもの国 ⇄ 中の町 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	3	0.5%
17	コザ運動公園 ⇄ グランメールリゾート	3	0.5%
18	コザ運動公園 ⇄ 一番街	****	****
19	コザ運動公園 ⇄ 一番街 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	****	****
20	プラザハウス ⇄ 一番街 ⇄ 中の町 ⇄ 北谷アメリカンビレッジ	****	****
	その他	390	58.0%

※2箇所以上周遊者に占める来訪率



※2箇所以上周遊者に占める来訪率

観光エリア 周遊分析

通年

曜日別

観光エリア間 周遊率

NO	観光エリア名	来訪者数	2箇所以上 来訪率	平均周遊 箇所数	周遊先観光エリア名									
					県総合運動公園	コザ運動公園	沖縄こどもの国	東南植物楽園	プラザハウス	一番街	中の町	グランメー ルリゾート	北谷アメリ カンビレッジ	沖縄イオンモ ールライカム
1	県総合運動公園	89	42.3%	1.61	****	-	-	****	3.9%	9.8%	15.8%	13.0%	17.3%	
2	コザ運動公園	93	50.8%	1.76	****	****	-	****	10.6%	23.1%	6.4%	15.3%	14.4%	
3	沖縄こどもの国	91	54.8%	1.82	****	-	****	5.5%	4.8%	11.6%	9.3%	31.3%	17.6%	
4	東南植物楽園	120	42.1%	1.57	-	****	-	****	3.1%	3.7%	5.0%	26.6%	15.1%	
5	プラザハウス	111	61.4%	2.06	****	****	4.5%	****	13.1%	17.8%	4.6%	31.6%	29.5%	
6	一番街	341	64.0%	1.93	1.0%	2.9%	1.3%	1.1%	4.3%	40.4%	1.6%	24.4%	16.8%	
7	中の町	608	46.0%	1.64	1.4%	3.5%	1.7%	0.7%	3.3%	22.7%	2.2%	14.9%	13.5%	
8	グランメー ルリゾート	231	51.6%	1.74	6.1%	2.6%	3.7%	2.6%	2.2%	2.4%	5.8%	21.1%	30.2%	
9	北谷アメリ カンビレッジ	694	50.8%	1.71	1.7%	2.0%	4.1%	4.6%	5.1%	12.0%	13.0%	7.0%	22.7%	
10	沖縄イオンモ ールライカム	631	51.2%	1.73	2.4%	2.1%	2.5%	2.9%	5.2%	9.1%	13.0%	11.0%	25.0%	

周遊率が最も高い
周遊率が2番目に高い

「県総合運動公園」「グランメー
ルリゾート」「北谷アメリ
カンビレッジ」来訪者は、「沖縄イオンモ
ールライカム」との周遊率が最も多い。
「コザ運動公園」「一番街」来訪者は「中の町」との周遊率が最も多い。
「沖縄こどもの国」「東南植物楽園」「プラザハウス」「沖縄イオンモ
ールライカム」来訪者は、「北谷アメリ
カンビレッジ」との周遊率が最も高い。
「中の町」来訪者は、「一番街」との周遊率が最も多い。

観光エリア別 旅程分析

通年

曜日別

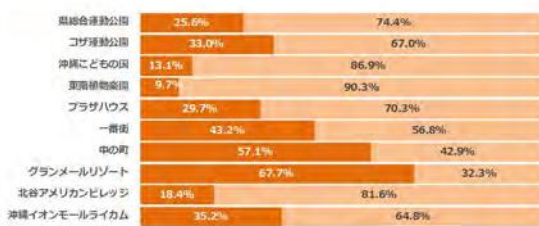
観光エリア別 旅程別 来訪者数・構成比

No	観光エリア名	来訪者数	日帰り	1泊	2泊以上
1	県総合運動公園	89	-	12	76
2	コザ運動公園	93	6	13	74
3	沖縄こどもの国	91	-	4	87
4	東南植物楽園	120	****	6	113
5	プラザハウス	111	-	6	105
6	一番街	341	****	19	319
7	中の町	608	6	89	513
8	グランメー ルリゾート	231	****	31	197
9	北谷アメリ カンビレッジ	694	****	36	658
10	沖縄イオンモ ールライカム	631	****	38	591



観光エリア別 宿泊場所区別 宿泊人泊数・構成比

No	観光エリア名	人泊数	域内宿泊	域外宿泊
1	県総合運動公園	248	64	185
2	コザ運動公園	267	88	179
3	沖縄こどもの国	293	38	255
4	東南植物楽園	366	36	330
5	プラザハウス	358	106	252
6	一番街	1,046	452	594
7	中の町	1,726	986	740
8	グランメー ルリゾート	616	417	199
9	北谷アメリ カンビレッジ	2,233	411	1,822
10	沖縄イオンモ ールライカム	2,066	728	1,338



- いずれの観光エリアも2泊以上の傾向が強い。
- 域内泊傾向が強い…「グランメー
ルリゾート」「中の町」
- 域外泊傾向が強い…「県総合運動公園」「コザ運動公園」「沖縄こどもの国」「東南植物楽園」「プラザハウス」「一番街」
「北谷アメリ
カンビレッジ」「沖縄イオンモ
ールライカム」

観光エリア別 域内泊数分解分析

通年

詳細資料

観光エリア別 域内泊数分解分析

No	観光エリア名	来訪者数			宿泊者数	宿泊率	宿泊人泊数	平均泊数	域内泊数	域内宿泊率
		来訪者数	宿泊者数	宿泊率						
1	県総合運動公園	89	89	100.0%	89	100.0%	265	2.99	64	23.9%
2	コザ運動公園	93	87	93.5%	87	93.5%	274	3.15	88	32.2%
3	沖縄こどもの国	91	91	100.0%	91	100.0%	303	3.34	38	12.6%
4	東南植物楽園	120	119	99.2%	119	99.2%	375	3.15	36	9.5%
5	プラザハウス	111	111	100.0%	111	100.0%	386	3.46	106	27.6%
7	中の町	608	602	99.1%	602	99.1%	1,833	3.04	986	53.8%
8	グランメールリゾート	231	228	98.8%	228	98.8%	642	2.82	417	65.0%
9	北谷アメリカンビレッジ	694	693	99.9%	693	99.9%	2,346	3.38	411	17.5%
10	沖縄イオンモールライカム	631	629	99.7%	629	99.7%	2,191	3.48	728	33.2%

来訪者数

「北谷アメリカンビレッジ」の来訪者が最も多く、ついで「沖縄イオンモールライカム」、「中の町」の来訪者が多い。

宿泊率

いずれの観光エリアも9割以上が宿泊旅程。

域内宿泊率

「グランメールリゾート」の域内泊率が最も多く、ついで「中の町」の域内宿泊率が多い。

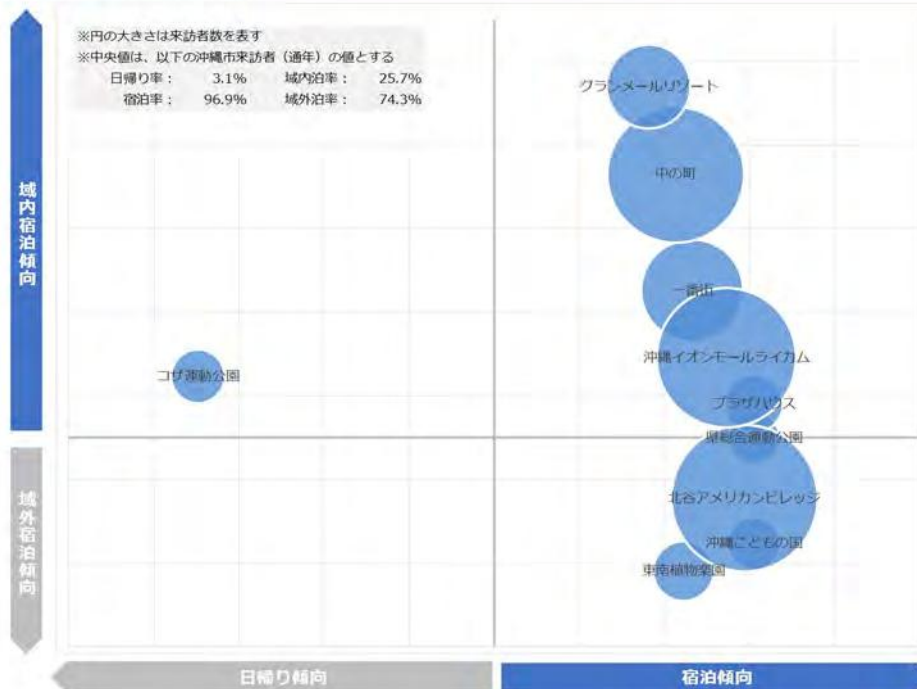
「東南植物楽園」は特に域内宿泊率が低く、宿泊者の9割以上が沖縄市外へ宿泊流出している。

観光エリア別 域内泊数分解分析

通年

詳細資料

観光エリア別 域内泊数分解分析



観光エリア別 昼間滞在時間分析

通年

観光エリア別 旅程別 昼間滞在時間分析

観光エリア名	来訪者数	全体	日帰り	宿泊
全体来訪者	4,273	2:55	2:14	2:56
いずれかの観光エリア来訪者	2,135	1:55	1:53	1:55
県総合運動公園	89	2:53	-	2:53
コザ運動公園	93	2:41	1:56	2:42
沖縄こどもの国	91	2:02	-	2:02
東南植物楽園	120	1:33	1:01	1:34
ブラザハウス	111	0:50	-	0:50
一番街	341	1:31	1:28	1:31
中の町	608	2:24	2:53	2:23
グランメールリゾート	231	1:57	2:02	1:57
北谷アメリカンビレッジ	694	1:45	0:41	1:45
沖縄イオンモールライカム	631	1:40	1:09	1:40

沖縄市来訪者（通年）の昼間滞在時間は2時間55分。
 観光エリア別では、「県総合運動公園」の滞在時間が最も長く2時間53分。
 ついで「コザ運動公園」、「中の町」の滞在時間が長い。
 前年度の2019年度と比較すると、沖縄市全体来訪者の昼間滞在時間は55分増加（2:00⇒2:55）。

発地分析

条件

期間別

発地市区町村別 来訪者数・構成比

■2020年4~6月

Table with 4 columns: 順位, 市区町村名, 都道府県名, 来訪者数, 構成比. Lists 80 municipalities and their respective prefectures and visitor statistics for April-June 2020.

■2020年7~9月

Table with 4 columns: 順位, 市区町村名, 都道府県名, 来訪者数, 構成比. Lists 80 municipalities and their respective prefectures and visitor statistics for July-September 2020.

発地分析

条件

期間別

発地市区町村別 来訪者数・構成比

■2020年10~12月

Table with 4 columns: 順位, 市区町村名, 都道府県名, 来訪者数, 構成比. Lists 80 municipalities and their respective prefectures and visitor statistics for October-December 2020.

■2021年1~3月

Table with 4 columns: 順位, 市区町村名, 都道府県名, 来訪者数, 構成比. Lists 80 municipalities and their respective prefectures and visitor statistics for January-March 2021.

発地都道府県別 域内泊数分解分析

通年

前同別

発地都道府県別 域内泊数分解分析

順位	都道府県名	来訪者数		宿泊人泊数				
		宿泊者数	宿泊率	平均泊数	域内泊数	域内泊率		
1	福岡県	773	740	95.7%	1,762	2.38	358	20.3%
2	東京都	705	687	97.4%	1,999	2.91	519	26.0%
3	大阪府	392	384	98.0%	1,079	2.81	254	23.6%
4	神奈川県	385	380	98.5%	1,117	2.94	330	29.5%
5	愛知県	275	267	97.2%	761	2.85	183	24.0%
6	埼玉県	231	223	96.4%	663	2.97	166	25.0%
8	兵庫県	213	212	99.1%	591	2.79	162	27.4%
9	京都府	90	89	98.8%	255	2.87	70	27.4%
10	広島県	84	80	95.3%	223	2.78	73	32.5%
11	鹿児島県	78	75	96.0%	203	2.70	46	22.8%
12	熊本県	77	71	92.0%	208	2.93	56	26.8%
13	長崎県	61	59	98.1%	147	2.48	59	40.3%
15	北海道	49	43	88.9%	155	3.59	34	22.1%
16	茨城県	47	42	89.0%	117	2.77	34	28.9%
17	岡山県	44	38	86.4%	121	3.16	51	42.5%
18	大分県	40	38	93.6%	129	3.41	45	35.3%
19	静岡県	40	40	100.0%	106	2.65	32	30.0%
20	三重県	36	34	93.2%	119	3.50	30	25.5%
22	奈良県	35	35	100.0%	117	3.30	28	23.8%
23	宮崎県	32	32	100.0%	88	2.70	26	29.4%
24	岐阜県	32	32	100.0%	97	3.01	14	14.2%
25	和歌山県	28	28	100.0%	65	2.31	18	28.3%
26	群馬県	26	24	93.7%	83	3.46	32	38.6%
27	香川県	20	20	100.0%	56	2.73	6	10.2%
29	長野県	19	19	100.0%	48	2.55	10	21.5%
30	栃木県	18	18	100.0%	57	3.21	8	14.6%
31	山口県	17	16	93.8%	58	3.60	23	39.1%
32	福島県	15	15	100.0%	53	3.54	20	36.9%

観光エリア別 発地分析

通年

前同別

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■県総合運動公園				■コザ運動公園				■沖縄こどもの国				■東南植物楽園			
順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比	順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	89	100.0%	-	合計	93	100.0%	-	合計	91	100.0%	-	合計	120	100.0%
1	東京都	14	15.6%	1	福岡県	32	34.9%	1	東京都	16	17.1%	1	東京都	20	16.4%
2	福岡県	8	9.2%	2	神奈川県	10	11.1%	2	愛知県	11	12.0%	2	愛知県	14	11.7%
3	大阪府	8	9.0%	3	大阪府	9	9.7%	3	千葉県	9	10.1%	3	兵庫県	13	11.0%
4	千葉県	6	6.5%	4	東京都	8	8.8%	4	兵庫県	8	9.3%	4	福岡県	12	10.1%
5	埼玉県	6	6.5%	5	広島県	6	6.5%	5	神奈川県	6	7.0%	5	大阪府	11	9.1%
6	京都府	5	6.0%	6	愛知県	5	5.8%	6	奈良県	6	6.4%	6	神奈川県	8	6.7%
7	熊本県	5	5.5%	7	千葉県	5	5.3%	7	大阪府	5	5.5%	7	千葉県	7	6.2%
8	神奈川県	4	4.5%	8	佐賀県	****	****	8	福岡県	4	4.5%	8	埼玉県	7	5.6%
9	岡山県	4	4.0%	9	長野県	****	****	9	北海道	****	****	9	広島県	4	3.4%
10	愛知県	3	3.6%	10	熊本県	****	****	10	熊本県	****	****	10	北海道	****	****
11	群馬県	3	3.6%	11	京都府	****	****	11	埼玉県	****	****	11	大分県	****	****
12	茨城県	3	3.6%	12	山梨県	****	****	12	長崎県	****	****	12	三重県	****	****
13	兵庫県	****	****	13	岐阜県	****	****	13	京都府	****	****	13	岐阜県	****	****
14	長野県	****	****	14	長崎県	****	****	14	茨城県	****	****	14	静岡県	****	****
15	滋賀県	****	****	15	奈良県	****	****	15	徳島県	****	****	15	鹿児島県	****	****
16	佐賀県	****	****	16	兵庫県	****	****	16	佐賀県	****	****	16	宮城県	****	****
17	愛媛県	****	****	17	北海道	****	****	17	三重県	****	****	17	熊本県	****	****
18	山梨県	****	****	18	-	-	-	18	岐阜県	****	****	18	岡山県	****	****
19	静岡県	****	****	19	-	-	-	19	鹿児島県	****	****	19	香川県	****	****
20	新潟県	****	****	20	-	-	-	20	岩手県	****	****	20	京都府	****	****
21	長崎県	****	****	21	-	-	-	21	和歌山県	****	****	21	茨城県	****	****
22	和歌山県	****	****	22	-	-	-	22	広島県	****	****	22	奈良県	****	****
23	奈良県	****	****	23	-	-	-	23	宮崎県	****	****	23	栃木県	****	****
24	宮城県	****	****	24	-	-	-	24	栃木県	****	****	24	-	-	
25	栃木県	****	****	25	-	-	-	25	-	-	-	25	-	-	
26	宮崎県	****	****	26	-	-	-	26	-	-	-	26	-	-	
27	-	-	-	27	-	-	-	27	-	-	-	27	-	-	
28	-	-	-	28	-	-	-	28	-	-	-	28	-	-	
29	-	-	-	29	-	-	-	29	-	-	-	29	-	-	
30	-	-	-	30	-	-	-	30	-	-	-	30	-	-	

観光エリア別 発地分析

通年

編目別

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■プラザハウス

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	111	100.0%
1	東京都	26	23.4%
2	福岡県	16	14.6%
3	大阪府	10	8.9%
4	神奈川県	10	8.6%
5	愛知県	8	6.8%
6	埼玉県	6	5.2%
7	千葉県	5	4.4%
8	兵庫県	5	4.3%
9	広島県	4	3.6%
10	京都府	3	2.9%
11	大分県	****	****
12	長崎県	****	****
13	鹿児島県	****	****
14	北海道	****	****
15	三重県	****	****
16	山梨県	****	****
17	石川県	****	****
18	山口県	****	****
19	茨城県	****	****
20	岩手県	****	****
21	奈良県	****	****
22	宮崎県	****	****
23	長野県	****	****
24	群馬県	****	****
25	-	-	-
26	-	-	-
27	-	-	-
28	-	-	-
29	-	-	-
30	-	-	-

■一番街

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	341	100.0%
1	東京都	89	26.1%
2	神奈川県	41	11.9%
3	大阪府	34	9.9%
4	福岡県	28	8.4%
5	愛知県	25	7.3%
6	埼玉県	23	6.9%
7	兵庫県	18	5.3%
8	千葉県	17	4.9%
9	鹿児島県	9	2.8%
10	京都府	7	2.2%
11	広島県	5	1.5%
12	熊本県	5	1.5%
13	福島県	4	1.0%
14	長崎県	3	1.0%
15	群馬県	3	0.9%
16	佐賀県	****	****
17	奈良県	****	****
18	和歌山県	****	****
19	長野県	****	****
20	三重県	****	****
21	岐阜県	****	****
22	大分県	****	****
23	岡山県	****	****
24	青森県	****	****
25	静岡県	****	****
26	香川県	****	****
27	滋賀県	****	****
28	鳥取県	****	****
29	茨城県	****	****
30	富山県	****	****

■中の町

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	608	100.0%
1	福岡県	114	18.7%
2	東京都	83	13.7%
3	神奈川県	59	9.7%
4	大阪府	59	9.6%
5	埼玉県	44	7.3%
6	千葉県	30	4.9%
7	兵庫県	29	4.8%
8	愛知県	25	4.1%
9	京都府	21	3.5%
10	広島県	20	3.3%
11	長崎県	18	3.0%
12	熊本県	14	2.3%
13	大分県	9	1.5%
14	佐賀県	9	1.4%
15	奈良県	9	1.4%
16	宮崎県	8	1.3%
17	北海道	7	1.2%
18	福島県	7	1.2%
19	群馬県	6	0.9%
20	鹿児島県	4	0.7%
21	宮城県	4	0.6%
22	岡山県	4	0.6%
23	山梨県	3	0.6%
24	岐阜県	3	0.6%
25	栃木県	****	****
26	茨城県	****	****
27	山形県	****	****
28	和歌山県	****	****
29	長野県	****	****
30	愛媛県	****	****

■グランメルリゾート

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	231	100.0%
1	大阪府	34	14.6%
2	東京都	32	13.8%
3	福岡県	24	10.6%
4	千葉県	23	10.1%
5	愛知県	22	9.3%
6	神奈川県	20	8.6%
7	兵庫県	8	3.7%
8	埼玉県	6	2.5%
9	茨城県	5	2.3%
10	広島県	5	2.2%
11	北海道	5	2.0%
12	佐賀県	4	1.9%
13	熊本県	4	1.6%
14	長野県	4	1.6%
15	岡山県	4	1.6%
16	山梨県	3	1.5%
17	岐阜県	3	1.5%
18	香川県	3	1.5%
19	京都府	3	1.4%
20	鹿児島県	3	1.4%
21	和歌山県	****	****
22	石川県	****	****
23	徳島県	****	****
24	愛媛県	****	****
25	大分県	****	****
26	三重県	****	****
27	福島県	****	****
28	山口県	****	****
29	栃木県	****	****
30	群馬県	****	****

観光エリア別 発地分析

通年

編目別

観光エリア別 発地都道府県別 来訪者数・構成比

■北谷アメリカンビレッジ

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	694	100.0%
1	東京都	125	18.0%
2	大阪府	85	12.3%
3	福岡県	76	10.9%
4	神奈川県	67	9.6%
5	愛知県	62	8.9%
6	兵庫県	40	5.7%
7	千葉県	34	4.9%
8	埼玉県	34	4.9%
9	広島県	15	2.2%
10	京都府	13	1.8%
11	熊本県	12	1.8%
12	大分県	12	1.7%
13	北海道	10	1.4%
14	宮城県	9	1.2%
15	茨城県	8	1.2%
16	岐阜県	8	1.2%
17	奈良県	8	1.1%
18	鹿児島県	6	0.9%
19	岡山県	6	0.9%
20	和歌山県	6	0.8%
21	静岡県	6	0.8%
22	栃木県	6	0.8%
23	滋賀県	6	0.8%
24	三重県	5	0.7%
25	群馬県	5	0.7%
26	長野県	5	0.7%
27	福島県	5	0.7%
28	佐賀県	4	0.6%
29	山口県	3	0.5%
30	新潟県	3	0.5%

■沖縄イオンモールライカム

順位	都道府県名	来訪者数	構成比
-	合計	631	100.0%
1	東京都	100	15.8%
2	福岡県	79	12.6%
3	大阪府	69	10.9%
4	神奈川県	51	8.1%
5	愛知県	49	7.7%
6	兵庫県	41	6.5%
7	千葉県	38	6.1%
8	埼玉県	24	3.8%
9	広島県	20	3.2%
10	京都府	17	2.7%
11	鹿児島県	11	1.7%
12	北海道	10	1.6%
13	岐阜県	9	1.5%
14	熊本県	9	1.4%
15	奈良県	9	1.4%
16	三重県	8	1.3%
17	茨城県	7	1.2%
18	佐賀県	7	1.1%
19	福島県	7	1.1%
20	長崎県	7	1.1%
21	栃木県	7	1.0%
22	山梨県	6	0.9%
23	宮崎県	6	0.9%
24	山口県	5	0.9%
25	大分県	5	0.8%
26	和歌山県	4	0.6%
27	岡山県	4	0.6%
28	静岡県	3	0.5%
29	新潟県	3	0.5%
30	徳島県	3	0.5%